京城日報

四月一日夕刊
(朝刊ご夕刊ごを併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金五十錢 ▲三ヶ月金一圓四十五錢(前納に限り郵稅共) ▲郵券代用は一割增
廣告料金 ▲五號活字一行金四十錢 ▲三號活字一行一圓 ▲特等六號活字一行 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號(編輯 一二四番 營業 二四五番)振替貯金口座 [illegible]

版
時間表
[illegible]
十一月一日現行

◎英軍戰局有望
獨軍の楔狀突入全く歇む

戰局の形勢は有望なり一時顯著なりし獨軍の楔狀突入地面は漸次細り行き而も其突入も既に全く止みたり敵は前進するに從ひ其側面に對する英佛の攻擊力を大ならしめつゝあり街戰鬪の範圍は目下アルベール、ロア、シニイカンに集中せられつゝあり(倫敦電報)

◎ウ要塞戰鬪と同樣
獨軍ア街道進出遮斷自覺

野戰を避けんとする獨軍作戰の傾向は敵がアミアン街道よりの進出を遮られたる事を自覺せるを明白に示すものにして這は嘗てヴエルダン攻擊に際し敵がヴオー要塞前方の突擊を阻止せられたる時に當りて後退し死人丘及び二〇四高地に對しミユーズ河左岸に第二回の猛襲を敢行したる當時の狀態と同一なり即ちスカルプ河兩岸に對する攻擊はミユーズ河に於ける夫れと同じく敵が牽制運動を行はん爲めの奇襲なるを以て其結果は敢て豫言するに難からず(倫敦電報)

◎英軍敵軍を擊退す

ヘーグ元帥廿八日公報=本日英軍は我軍の前線全部に沿うて敵軍を擊退し莫大の損害を與へたり今回獨軍の攻擊遁々たるを認む(東京特電)

◎英佛兩軍總指揮官

英佛兩國政府はヘーグ元帥の同意を得てフオツク將軍を現今の作戰中西部戰線に於ける英佛軍總指揮官に任命することに決定せり右は英佛兩軍が互に混入し夫れに依つて生ずる諸種の面倒困難を除去するの目的に出でたるものなり(倫敦電報)

◎段內閣組織

段祺瑞氏は左の顏觸にて內閣を組織せり(北京特電)
外務陸徵祥▲內務錢能訓▲陸軍段芝貴▲海軍劉冠雄▲文部傅增湘▲司法朱深▲交通曹汝霖(留任)

◎西伯利執政官任命

莫斯科二十二日發電=イルクックよりの報に據れば勞農政府は今回ブルエーツイツチを全西伯利及び沿黑龍州執政官に任命し極東に對する外國人の侵入並に反革命運動に對抗する緊急手段を講ぜしむべしと(哈爾賓特電)

◎東京市長當選
田尻稻次郎子

奧田義人氏逝去後永らく空位の儘なりし東京市長の銓衡は其の後行惱み居りしが三十一日夜九時東京市會の選擧に於て田尻稻次郎子三十八票、阿部浩氏三十一票即ち七票の差にて田尻子當選せり(東京特電)

◎九大總長通過

九州帝大總長眞野文二博士は一日朝大連より來奉直に安奉線にて歸途に就きたり(奉天特電)

◎高山少將通過

關東都督府參謀長高山少將は三十一日夜旅順より奉天通過公主嶺へ向へり(奉天特電)

◎醫科大學卒業生

九州帝國大學醫科大學卒業生三十三名は一日朝來釜鳴戶支店に休憩市內視察の上同夜十一時半發列車にて北行す可く仁川へ直行の筈(釜山特電)

◎戰況奈何
樂觀を許さず

西部戰場に於ける獨軍の大攻勢は之が準備行動として約二週間に亘る偵察戰を行ひたる後愈々本月廿一日を以て開始されアラスよりラフエールに至る英軍の正面五十哩に主力を集中し其の兵力は尠くも七十箇師團を下らず開戰以來僅かに數日を出でずして早くも四里乃至五里の深さに英軍の陣地を略取するを得たり即ち開戰當初の廿一日に於てはアラスよりカンブレー、サンカンタンを經てラフエールに至る線に

▼兩軍の對時 せるを見たるに二十四日にはアラスよりクラヂーユ、バポーム、コムブル、ペロンヌ、ネツスル、キスカール、ショーニー及びセルニーに至る線に英軍の退却の已む無きに至りたるが獨軍の攻擊は更に猛烈に繼續され英軍は優勢なる佛軍の增援に依り一時敵の前進を阻止せる如くなりしも戰勢不利にして力戰遂に其の効を奏せず又も後方に撤退して廿五日にはエーエツー、ピユイジーユ、ボーモンタメル、アルベール、ブレー、アンクール、ロア及びノアイオンの線に占據するに至れり斯くて英軍は一昨年及び昨年の攻勢に依りて獨軍より奪還せる陣地を

▼再び悉く喪失 したるのみならずソンム河兩岸に亙る地區に於ては更に獨軍の侵略を蒙むるに至り形勢甚だ憂慮に堪へざる者あり勝ち誇りたる獨軍はカイゼル自ら陣頭に馬を進めて全軍を指揮しヒンデンブルグ及びローデンドルフの兩元帥が智謀に依りて士氣は益々旺盛なるを加へ廿五日以後の確實なる情報は未だ之を知る能はざるも外電の傳ふる所に依れば獨軍は更に新なる攻擊を開始せるが如くソンム河の兩岸に於て最も猛烈なる戰鬪行はれつゝあり佛軍は英軍の危急なるを知るや一軍約五六個師團の兵力を

▼ソンム河畔 に急行せしめたるも敵の前進意外に速かなりし爲め遂に增援の目的を達するを得ず獨軍をしてソンム渡河の目的を成就せしめたり形勢已に斯くの如くなれば英軍の防禦力は素より充分なる可しと雖も遺憾ながら近々更に其の陣地を撤退してアミアンよりコンピエーヌに亘る線に據らざる可らざるに至る可くアミアンより北海岸までは約二十里、コンピエーヌより巴里に至るには僅かに十七里內外のみ英佛軍の防禦力は精確に其の程度を知る能はざるも一昨年より昨年に亙りて占領したる獨軍の陣地を整理せんが爲めに後方の

▼鐵條網其他 の防禦物を運搬して之に使用したりとせば後方陣地の防備は當然多少の薄弱となるものあるを免れざる可きも又は最初より後方陣地の防禦物に乏しきが補給の途完全なるを得たるか何等手を下したることなしとせば開戰以來堅固に堅固を重ねたる構築の容易に突破さる可しとは思はれざれども必ずしも樂觀するを許し難きものあり一度ソンム河畔の陣地にして崩壞の端を開かんか英軍は遂に北海に壓迫されて全滅の危急に瀕するなきを保せず英軍亦深く斯かる事ある可きを憂慮してアミアン方面より海岸に至る中間に

▼獨軍の襲來 を防止す可き堅牢なる施備を行ひ居れるが獨軍は斯かる危險に瀕したる時果して如何なる行動に出でんとするか世人は巴里の陷落を以て佛國の滅亡なるかの如く思惟するもの無きにあらざるも作戰上或は首都を捨てゝ後方の陣地に據らむとすることも開戰當初に於けるが如くなるやも知る可らず野戰軍にして嚴存する以上巴里の陷落は決して佛國の運命を左右するに足らずと雖も其の國民士氣に影響することは甚大なるを免れず要するに今後の戰勢如何は聯合軍の前途に最も重大なる結果を招致す可く眞に注目の要あるものと言ふ可し(廿九日=東京)

◎郵便規則改正要旨
=繪葉書通信文欄の擴張=閉囊配達の新設=
其の他利便なる改正
遞信局監理課長 矢野義二郎氏談

四月一日附總督府令第二十五號を以て郵便規則を改正されたるが其の要領に付矢野遞信事務官の談左の如し

▲繪葉書の通信文 從來繪葉書は表面下部約三分の一以內に於て通信文等を記載し得たりしが今回は二分の一以內迄差支なきことゝなれり之れ繪葉書差出人にとりては頗る利便とする所なるべし

▲閉囊配達 郵便物の紛失は配送後に於ても往々之れあるを以て此等の紛失を防がんが爲め且つ又多數の配達を受くる受信人にありては郵便物整理上各種の利便の爲め一定の行囊中に郵便物を納入し之れに錠を施して配達を受くるときは頗る利便なる場合尠なからざるを以て今回郵便規則を改正し書留及び價格表記以外の料金完納の通常郵便物に限り閉囊配達を配達局所に請求し得ることゝなれり尙ほ英國に於ては一定の料金を納付するときは私行囊配達と稱し一定の行囊に錠を施し郵便物を之に納入して配達する制度あり今回改正の閉囊配達の制に類せるものなり

▲其他の改正 以上の外從來低料の料金を以て郵送し得べき無封書狀は毎月一回以上繼續刊行し其差出通數一年三萬通以上なることを要件とせしも四月一日以降は一年一萬通以上にて且つ二箇月一回以上繼續發行のものにて差支なきことゝなれり其他價格表記郵便を通貨價格表記と物品價格表記となし從來の規定の不備なる點を補ひし外二、三の改正をなせり

◎清津敦賀間の開航
命令航路定期運航=初航滿船

總督府の命令航路たる朝郵經營の清津敦賀間日本海橫斷航路は既報の如く當分の間平壤丸就航する事となり一日午後九時清津出帆二日城津寄港三日朝元山入港同夜元山出帆敦賀に向ふ事となりしが往航は元山清津城津各港より穀類材木干鰯咸興炭等の敦賀揚げ積荷夥しく到底平壤丸の船腹にては收容し切れざるを以て

▲約一千餘噸 の積み殘しを見乘客亦相當の乘船申込みあり初航は豫期以上の成績なる如し唯敦賀よりの復航は幾許の貨客あるか會社當局にても未だ見當立ち居らざるに似たり尙ほ就航船は命令條件による時二千噸級となり居れるも船腹不足の際とて直ちに同級船の傭入若くば買船を會社にて行ひ難き事情あるに付茲當分の間一千二百噸の平壤丸を就航せしむる事となりしが會社にては頻りに船舶物色中の由に付遠からず二千噸級船の就航を見るべし

▼運賃は低廉 清津敦賀間航路の貨客運賃は四月一日附遞信局より認可あり乃ち左の如く貨物運賃は清津城津元山三港の何れより積出すも敦賀までの運賃は同額になり居れり

▲貨物運賃

品名	數量	賃金
穀物	百石	五圓〇〇
噸扱物	一噸	九、五〇
特種品甲	同	七、六〇
同乙	同	五、七〇
陶土	同	五、〇〇
活牛	一頭	一〇、〇〇

▲乘車運賃
▲清津より敦賀 一等二十三圓、二等十六圓、三等九圓
▲城津より敦賀 一等二十圓、二等十四圓、三等八圓
▲元山より敦賀 一等十八圓、二等十二圓、三等七圓

右に付伊藤海事課長は清津敦賀線は命令航路に付貨客運賃を普通より餘程低廉となしたり之れ地方の產業開發を助長する意味より出でしものなりと語れり尙ほ本航路による北鮮各港より大阪積出の貨金を見るに、清津城津元山敦賀行き穀類運賃は八十五圓となりたるが敦賀大阪間の鐵路は三十七圓五十錢に付以上の合計百石百二十二圓五十錢に相當し之れを大阪商船の北鮮阪神航路に比すれば清津より七十三圓安城津より五十三圓安元山より三十八圓安となるに付今後の出貨は存外多量に上るべき狀勢なりと

◎辭令

三十日附左の通り辭令ありたり
依願免本官 休職朝鮮總督府營林廠技師 齋藤香作
依願免本官 同技師 宮崎正義
陞敍高等官五等 四級俸下賜
依願免本官

東京より
在京 一記者

世界大戰の關ヶ原(上)
獨軍攻勢運動の序幕

○久しく期待せられつゝありし獨軍の攻勢的運動が其の第一著手として去る二十二日詰旦スカルプ河よりオアーズ河に亙る英軍の五十哩の戰正面に於て開始せられたるは、西部戰線に於ける大決戰の序幕とせざる可からず。○是より先き、獨軍の攻勢運動が何れの方面に行はるべきや否やは軍事專門家の齊しく疑問とした所なりしも、大抵左の諸點に出るの外無かるべしと假定せるが如し

第一 里昂を目標としてベルフオールブザンソンより進出する事
第二 カレー及び他の英佛海峽沿岸港を目標として、サン、カンタン及びニユーポール間の英軍戰線を突破する事
第三 巴里を目標として、ソアツソン及びヴエルダン間の佛軍戰線を突破する事

別に獨軍の進路如何を推測するに左の三方面に過ぎざるべしとせるものありたり

第一 シヤンパーニユを攻擊點としてレイムスの東西より包圍運動を起し、佛軍の戰線を突破する事。
第二 ローレン方面に於て、ナンシーの南北より同樣の計畫を以て進出する事。
第三 アルゴンヌ森林の西方、即ちシヤンパーニユ、及びモーゼル河の西方ローレンより包圍運動を行ひ、ヴエルダン地方を砲擊し突破を遂行する事。

以上獨軍の進路に就て、其の最も可能性を有するものは、前者に於ける第二の方面なりし也。何となれば此の方面に於ては、獨軍の進出に對し、何等地物の障害少なく而かも其の道路は四通八達し高山大川の遮るもの無く能く百萬の大軍を一戰線に行り、獨軍得意の韜略を應用し得べければ也。

○果して然り、獨軍の攻勢運動は英軍の守備就中脆弱なる方面に行はれ、カンブレー以北の英軍に對しては、未だ大なる進出無きが如しと雖も、其の以南、サン、カンタンに對しては、英軍の第一、第二線を突破して第三線に突入し、ペロンヌ、アム、ショーニーを占領し、其の一部はソンム河を亂して前進せるが如し。此等の攻擊は固より獨軍攻勢の序幕に過ぎざるべしと雖も、英軍が果して能く第二の攻勢運動に對し、英國固有の沈毅、堅忍的精神を發揮して之を阻遏し得るの成算あるや否やは、吾人の疑問の一たらざるを得ず。

任總督府遞信事務官補 叙高等官七等五級俸下賜 遞信技手 片桐要治
任總督府警視 陸軍憲兵中尉 小原德

◎當座預金利子計算單位引上

四月一日より京城及び釜山の組合銀行にては當座預金利子計算單位を從來百圓なりしを三百圓に引上げ實行したり

◎兩派運賃協定
手數料問題解決に付

紛議を起し居れる貨物取扱手數料問題に付京城商業會議所にて調停に盡力しつゝある事は既報せしが一日午後二時より荷主側代表者十餘名並に運送組合役員會議所に集合協定率の打合せをなす事となりしが一日中に決定するか若し決定を見ずば今一回開會する事となるべき形勢なり

▣大分此の頭を下げて來た
技手を求める爲め出張した村田鑛務課長は語る

◎床調查助に鑛區臨檢のため殖產局工部の鑛務課では大正七年度に三十餘名の技手を增員する、其の人選を用務中の一つとして內地各方面を一箇月ばかり廻つてゐた村田鑛務課長は三十日夜に歸任したが、其の談に曰く

◆根氣よくアチコチの關係學校を廻つて略所要人員は得られるやうな內約は出來た、しかし公に交涉すれば多分要る丈けの人は採られよう、何しろ內地の鐵業界は時局の影響を受け素晴らしい發展で技術者は幾千あつても足りない又高給を惜しまぬと云ふ有様だから、學校の卒業者、然も成るべく好いものをさらうとするのは可なりな骨折で僕も久方振りに大分此の頭を下げざるを得なかつた

◆尤も炭坑などはガス爆發があつたりして危險だから高工の卒業生などの中には父兄の方より進んで役人となるやう勸めてゐる人もあるらしく、さう云ふ人々は方々の役所でころに具合が好い

◆序でに福岡鑛務署長野田氏の談 拘引は內地に於ける方々の評判もあるが、どうも同樣に傾する點もなきに非ずらしい、尙ほ福岡の鑛務署長はその設員の盛になつてゐるが一寸危いやうに思へる場所だから何人も就任を厭ふ風があるさの事も聞いた

◎佐連線開通
電報發著平常に復せん

障碍不通となり居たる佐世保大連間の海底電信線は遞信省修理船急行修理を行なひたる結果三月三十一日午後一時半頃復舊したり右の結果內鮮間電信發著狀態は一日より略々平調に復せりと尙ほ數日前より通信不能に陷りゐたる京城浦鹽線も同日より開通したりと

◎片山理事挨拶

新任鮮銀理事片山繁雄氏は一日午前十一時三島理事の案內にて總督府總督府各部を歷訪し新任の挨拶をせり

◎京畿道用井戶掘鑿

京畿道に於ける大正六年中苗代灌漑用井戶掘鑿狀況を聞くに江原其他九郡中總數一千九十四個所工費一個平均六圓三十三錢掘造は圓形又は隋圓形にして深さ五坪乃至八坪、灌漑能力は良成績のものにて四五反に植付二三反に達し大干の時に際し其の効力頗る見るべきものありと

◎正巳鑛業所移轉擴張

熊谷惡直氏の經營にかゝる正巳鑛業所は今回業務擴張の爲め京城御成町七番地へ移轉し專ら鑛山用諸器械販賣並に鑛區鑛石の高價買入を爲す由

□京の圓山より　林一樂
京よろしく山門の若葉雨左阿彌愛宕遂し老櫻雨に若やく

人事消息

▲馬詰東拓貸收買所長 三十一日夜平壤安東方面へ出張
▲臼井水城氏(辯護士) 平壤咸州地方へ出張
▲吉松慶北一部長 三十一日退京中の處一日朝入京
▲中村京城覆審法院檢事長 三十一日平壤より歸任
▲宋秉畯子 三十一日水原より歸京
▲安部交通部員一行 一日朝出發內地へ
▲岡田學氏(總督府技師) 三十日附を以て棉作擴張計畫調査の爲咸北管內に更に殖產局米穀檢査狀況視察の爲東京、大阪、愛知、兵庫、廣島、福岡の各府縣に出張を命ぜらる
▲三井榮長氏(同) 黃海道に出張中の處二十九日歸任
▲新田留次郎氏(同) 南北滿洲及び北支那の鐵道線視察の爲出張中の處三十日歸任
▲田中卯三氏(總督府山林課長) 東京へ出張を命ぜられ一日出發
▲市川熙太郎氏(京畿道參與官) 馬山方面より三十一日夜歸任

九州要地歷訪([illegible])
◇博多だより(下)
別府生

◆滯博中の一日福岡縣廳を訪ふて、縣下に於ける工場の概觀を承はり候、福岡縣廳は那珂河畔の廣大なる敷地に百餘萬圓を投じて一昨年竣成せし石造の大建築、六市十九郡を統督する地方雄縣の廳舍として、愧かしからぬ內容外觀を備へ居り候

◆工場法の監督を受くる工場は職工十五人以上を使役せるものと定められ居り、右の外危險有害の虞れある工場は限外として其の拘束を受けつゝあるが、右に該當する民設工場數は縣下を通じ三百九十八、約四百なりとの事に候、尤も右の外官設の工場として八幡に製鐵所あり、小倉に陸軍兵器支廠あり、福岡に煙草專賣支局あるもコハ警察部工場課の管理を受けざる由也

◆而して職工の概數如何と云ふに常に異動多くして到底精確の數を知り難きも、民設四百の工場に約三萬五千の職工を使役し、官設の八幡製鐵所に二萬兵器支廠煙草專賣支局に約四千合計六萬を出でざるべしとの調査に有之候、而して右の內若松八幡戶畑大里小倉門司方面の所謂北九州には工場數[illegible]百四五十職工數約四萬を有する計算に成り居る由にて乃ち全數の七割弱に相當し、其工業の中心的勢力をなし居る事は素より知るに難からず候

◆然も以上は既設工場に就ての統計也、北九州の洞海灣を中心として目下計畫され又建設されつゝある諸工場……殊に東洋製鐵の如き、九州製鐵の如き、三菱製鐵の如きが、漸次其の作業を開始するに至らば、縣內の工場數は著しき增進を示すべきは勿論、其職工數の如き十萬を稱するも近き事なるべし、縣に於ても工場課程事務の進捗速やかなるものは無之由[illegible]

◆縣下の工產額は約何程なりやとの質問に對しては、頗る優しき若き理事官も可なり頭を捻り申候、大正五年の調查は約一億[illegible](鑛物を除く)となり居れる勘定なるが、其後の騰貴は尋常ならざるものあり、殊に物價騰貴に伴ふ各種生產品の值上り鐵事業の如きに於て然り、又事業の開始既設事業の大擴張に伴ふ生產增加あり更に大正五年の調查若干內輪に過ぎずやとの觀あるに付、大正六年少なくも大正七年には二億圓の工產を計上し得べしとの觀測を下し候

◆工產額より事業種別に順位を附すれば製鐵及び鐵關係事業首位を占め、應用化學に屬する事業之に次ぎ、ガラス、肥料、セメント製造業、織物類を網羅する纖維工業は第三席、而して醸造業之に亞ぐべしとの事に御座候、尙ほ此の事業順位は縣下に於ける新事業の大勢より觀て依然此の趨向を變ぜざるべしと斷定するも差支へなきが如く候

◆次に縣下に於ける職工賃金は戰爭開始以來、殊に昨年頃より著しく騰貴し、之れを大正三年頃に比すれば約倍額に達し居れりとの觀を作す者もあるが、大體觀を試みるに醸造業の如き一割五分內外の值上りに過ぎず北部地方の各種事業中には之れを個人として見れば居殘り等の關係上五割內外の增額を來し居る者も少なからざるに似たれど先づ平均約三四割方の上り方に過ぎざるべしとの事に候

◆唯炭山の坑夫は戰前の三四倍の收入を得居れるものあり、少なくも二倍以上に達せるらしきが、コハ自ら別種のものに付前記の計算には入り居らず候

◎ペリー博士

明治の初年日本の監獄制度に貢獻する處多かりし米國人宣教師ペリー博士は朝鮮に於ける宗教視察の爲め五日入京の筈なり

◇蒙古の喇嘛廟◇ 蒙古人の家は蒙古包と稱する簡單な天幕で何處にでも運搬能きるやうな貧弱なものであるが喇嘛の寺院は結構壯大、輪奐の美を極めて居る、これは導しく蒙古旅行者の驚く處であつて與地到る處此の寺院の在る附近には人家が軒を並べ祭典には王侯以下あらゆる人々が集合して盛んに讃唄、角力、假面踊りなど催す、寫眞はヒデ廟の西藏式の建築である

汽車の珍らしい人々

＝喇嘛僧赴日團廿六名＝

◆船は下に車輪がついて走るもの

「ホウ、此處の沙漠は莫迦に青い!!」

＝二日朝南大門驛著＝

日本訪問の喇嘛僧たちは廿八日の夜愈よ奉天に來著した、四月一日には午前の安奉線列車で京城に向ふ等、主催者日蒙佛教聯合協會のある奉天十間房の喇嘛廟皇寺はなかなかの賑ひである、皇寺といふのは奉天の名所、以前は北京の雍和宮と共に

◇清朝の勅願に よつて建立せられたものだといふ毎年陰曆の正月十五日例の元宵節の當日には百鬼夜行の怪物踊りのある寺で喇嘛は平素三百五六十名ばかり居る、こんど北の日本の觀光團となる喇嘛は主に內蒙古も滿洲寄りの土默特から赤峰附近の人が多く餘り遠方の與安嶺や外蒙古地方の人々は居らぬやうである、追々にはまた奥地の喇嘛も出て來るであらう、一行廿六名の

⊿喇嘛は何れもまだ 汽車が珍らしい人々である、若しそれ對馬海峽で連絡船に乘つたならば非常な驚きであらうと思ふ、現に旅順に行つた皇寺の喇嘛は汽船が水に泛ぶとはどうしても考へられぬと云つた海を見た喇嘛の言草が面白い『ホウ、此處の沙漠は莫迦に青い!』と、船の下には車輪がついて

◇青い沙漠を走 るものと心得てゐるから無邪氣であるこんどの喇嘛は大概支那語を語るさうである、通譯の日本人も卻つて支那語がよいかも知れぬといつて居る、しかしさすがの通譯も日本にあつて蒙古にない品物には説明に窮するらしいはなしであつた、但しお寺に行けば總てが解る、殊に美しい袈裟などを見れば

⊿日本がなつかしい 佛教國である事が泌々と感ずるであらう、喇嘛は洋食には困るまい、蒙古の牛酪（シヤツターズ）は歐洲のバタの元祖かも知れず西藏の料理は更に西洋式のものであるといふ、汽車には困るかも知れぬが喇嘛は駱駝には騎り馴れて居る、殊に相當の喇嘛になるには西藏の拉薩の大本山で授戒を受けねばならぬから殆んどむかしの福島中佐に讓らぬやうな大旅行をして居る

◇蒙古の忽必烈 は日本の人とはお馴染の豪傑、往昔中央亞細亞に據つて殆んど世界を統一しかけた蒙古人の歷史は實に痛快極まつたものではないか、今や東蒙古の鄭家屯には日本人の小學校が出來、邦字新聞さへも發行される時勢である、喇嘛も日本に吃驚せぬやう、日本人も喇嘛に驚かぬやう共に相識り相提携する必要があらう（奉天一記者）

◎喇嘛僧一行 二日朝南大門著

蒙古喇嘛僧一行廿六名は愈々一日午前九時半安奉線にて朝鮮經由東上せり奉天驛にては各宗教家を初め見送者多數一行は二日朝京城南大門驛著の豫定なり（奉天特電）

◎貨車粉碎 岩越線大雪崩 死者一傷者三

去る三十日午後七時岩越線上野尻德澤間に於て大崩雪落下し貨物列車粉碎して即死一名重傷三名を出せり（東京電報）

◎米澤高等工業 全燒

卅日夜十一時四十分米澤高等工業學校寄宿舍より出火し校舍迄に全燒せり（米澤電報）

◎京都赤痢發生 二條離宮近く

京都にては二日東宮殿下行啓を迎ふるに二條離宮に近く十名の赤痢患者發生し其筋狼狽せり（京都電報）

親代々 □からだ義太夫語□

若い藝人に有勝な

▽―浮かれ心から身を誤まつた

鶴松會の鶴澤小庄

古靭太夫と師匠の許を脱走して 東京から北海道へ

◇京城一 の三味線彈として女の奈良梅と相對抗してゐる義太夫師匠の看板を上げてゐる鶴澤小庄は南山町一丁目の池田小兒科病院の直ぐ前に居る、小庄の家といふのが代々義太夫語りでその先代は紋太夫といつて京都で可なり鳴らした太夫さんであつた、そして三人の姉もツ

◇門下のお歴々 ―を巡つて歩く 稻吉地巡業その三

イ先達て亡くなつた一人の妹も義太夫で身を立てたのだといふ斯うして生れるとから

◇淨瑠璃 畑に育つた丈に物心つくと同時に五行本の前に向はされて生みの親から敎へられてゐたが、十一の時に五代目野澤吉兵衞の所へ年期奉公にやられて三味線彈としての修業をしてゐる十九の歲にこの間來た古靭太夫（當時燕太夫といつてゐた）と共に誘はれるまゝに吉兵衞の所を逃げ出して東京の播磨太夫の所へ行つた、更にまた其處を飛び出して若い身空の女どもからちやほや持て

◇囃され るのをいゝ事にして古靭太夫と一緒に奥州路から北海道下りまで出かけて行つたが、その內古靭だけは歸參したが小庄はそのまゝ、相變らず諸所を轉々して朝鮮に來たのは明治三十九年、安東縣に二年ばかりゐて京城に來たのであるが、若い藝人に有勝な遊びに身を持ち崩して多くの同輩や弟子に先きを越された小庄も京城に來てからは頗る

◇眞面目 になり殊に一昨年清華亭の三太と夫婦になつてからは一層平和な家庭を作つてゐる、小庄の所には以前は千代本喜久家の女將、巴城館の伜、安住辯護士と中村辯護士などもゐたが、今では白上眞一氏などが中心になつて卻々盛んな樣である、小庄のいゝ所は敎へるのが旨くて、親切だといふのだが門下では巴城館の伜などは餘りに天狗振りが過ぎるので頻さがれる氣味はあるが上手ださうである。（一記者）

◇東京市長に當選した 北雷田尻博士

◎大阪狂犬騷ぐ 十數名を咬む

卅一日朝大阪府下池田町にて狂犬現はれ折柄通行者十數名を咬み大騷ぎを爲せしが該狂犬は未だ捕へられず（大阪特電）

◎上官の肩章 新兵の金を詐取

島根縣濱田廿一聯隊內にて先頃來新兵の酒保に行く途中上官の肩章を著けたる者新兵の懷中を檢め規定以上の金圓を所持するものなりとて取上ぐる者ありたるが遂に右は同第十一中隊二等卒高手樂一の所爲なる事發覺し岡山第十七師團軍法會議へ廻されたり（濱田電報）

◎全市民の希望ならば 北雷博士

◇市長に推選された◇

行惱みに行惱みを繰返してゐた東京市長の椅子も、遂に同交會に擔がれて、北雷田尻博士が卅一日の夜の市會で、當選が確定されたのは本紙一面東京電報の通りであるそれが今度市會で當選した、さて會計檢査院長の山高帽をおやめになつた經濟博士、さて漫畫氏あたりから奉つた東京の辯伴天がお似合になるであらうかどうする？。『―いかに眞に俺を市長に擔ぐならずですれ、順序として先づ市會が俺を選擧するさ。―併しそれ丈ではウムと云ふ譯にはゆかないぞ、俺の如な愚物を選んでくれたのは有りがたいが二百萬民衆はどうださう出るれ、そこで果して二百萬市民が與つて俺に出てくれとあらば改めて條件を提出する―ナニ條件とは經濟抱負かといふのかれ（少し考へて）あゝさうだ經濟だよ―』さたなりの有名な角々の摺切れた前襟に、匙く匁れ、白の晒木綿の手ずから襤ぎはぎして御粗末な襦衣をハミ出させて、これはまた豆粕飯試食會の席上で『全市民挙つての希望とあらば喜んでお受け致します』と明言した博士はさてどうする

◎忠淸丸故障 汽罐部に龜裂

朝鮮郵船忠淸丸は三月十三日下關を發し釜山以北の各港に寄港して同月二十二日午後九時頃咸北漁大津に投錨したる際汽罐部に龜裂を生じ居るを發見し鏡城丸に曳船されて法律に廻航し應急修理を施し單獨にて元山に航行の筈なりと

◎人夫八名生埋 二名慘死す

黃海道殷栗郡二道面の三菱經營鑛山にて三月二十二日午後五時頃內地人々夫八名の死傷者を出したる事あり彼等人夫自らが採掘したる土砂を運搬せんとする際輕鐵の故障を發見して之れを修繕中俄然上方の掘口より夥しき土砂崩落して人夫を生埋めにし居合はせたる朝鮮人人夫二名即死し內地人一名と朝鮮人々夫五名は重輕傷を負ひたる騷ぎに多數の人夫等驅けつけ掘出し負傷者には應急手當を加ふ

◎鮮人養父を銃殺 開城殺人事件

開城郡松都面高麗町居住元碧瀾渡船場の稅關監視なりし具興弘（三七）は三月二十八日朝居宅にて妻の實父なる具興運（五七）の頭部を擧銃にて射擊し一發にて即死せしめ已れは毒藥を仰ぎて自殺を企て苦悶中を取押へられ應急手當を加へ目下開城署にて取調中なるが原因は家庭の不和ならん因みに此の事件を內地人の如く傳ふるものあるも加害者被害者共朝鮮人なりと

◎櫻 ＝釜山の彼岸櫻＝

▲春は南から來ると言ふが釜山ではもう彼岸櫻の見頃で春の行樂に龍頭山や郊外は賑つてゐる

◎捕縛の刹那 自殺

平北宣川生れの金用洛（三八）は强盜犯人として官憲にて手配中の者なりしが三月二十六日午前三時四十分頃平南安州郡新安州面若松里康成奎方に潛伏中を新安州派遣所の憲兵補助員が探知し逮捕せんと出張したるに用洛は激しく抵抗したる爲め格鬪となり遂に補助員に組み敷かれ捕繩を打たるゝばかりとなりしが彼は假に隱し持ちたる小刀を自己の腹部七箇所に斬りつけ頸部の氣管を切斷して自殺を企てたる騷ぎに補助員は幸くも小刀を捥ぎ取りしが醫師を迎へて應急手當を加へしが生命危篤なりと

◎河井氏公判

愈よ大邱地方法院に於て懲役一年の判決を受けし之を不服として控訴したる朝鮮民報社長河井朝雄氏の公判は來る十五日大邱覆審法院に於て裁判長辻判事野田檢事の係にて開廷の筈なり（大邱）

◎松本登秀開演 ▽愈々一日より ▽有樂館に

文士浪花節として定評ある松本登秀一行は愈々今一日午後六時より有樂館に開演する筈なるが、同人の語り物は得意の大隈首相の爆彈事件明治大正怪物奇傑傳にして右は同人が新聞記者時代に實地に就いて調査したる事實を忌憚なく口演するものにして是まで各地に於て度々演じ來れるものなれば頗る好評を博すべく一行の語り物は△寛永名人傳（松本秀峰）△呂集介（松本美登利）△武勇の譽（浪華巴里）△水府義公（雲井花月）△大道）△誠忠戀の柵（東家燕入）△大隈首相要擊爆彈事件△明治大正怪物奇傑傳（松本登秀）

灯もと坂

片山新鮮銀理事は流々としてよく談ずる方だ▲鼻眼鏡をかけた其の顏は額が廣く學者風で常に何事にも研究的態度を失はぬ人のやうに見ゆる▲唯理事は年遺憾背が低い、三十日夜南大門驛に著いて波のやうに搖ぐ出迎人に挨拶をしてゐるのを見ると五尺そこ／＼の氏は多く人影に隱されてゐた▲出迎への三島理事は、肉付の豐かでない割に長軀の方だが、それに恰度和服の駒下駄と云ふ服裝なので靴履きの低い片山氏と對談してゐる所を見ると肩から上だけ高く▲終始三島氏は片山氏より俯向き具合となり片山氏は仰向けになりて眼鏡を光らしてゐる▲その對照が親子のやうだなどゝ陰口を叩いてゐる行員もあつたとか▲氏は當分獨身生活ださうな、いつ家族を呼ばれるかと或人が問くと、何しろ子供が多いので、學校關係などが大事だと答へたとか▲同行の大田理事も卻々の子福者で、七人か八人かある「理事はよく『子供の數を聞かれるのが一番閉口だ』と云つてゐるが▲片山理事も大田理事と同列らしい

讀者文藝（一等には五十錢の俗評券を呈す）

▲一口噺『時事』

○讀者『獨逸は南洋で毒瓦斯を取る藥草を栽培して居る相なー』與太公『肥料にはどんな毒をやるんだ。』―（一等） 京城 愛子

甲『製鐵所事件が又他へ飛火した相だよ』乙『道理で此頃各地に大火が多いのだ』 京城 錢吉

▲世間知『八幡事件が東京に飛火したさうだ』問我『ヒドイ風が吹いたんだらうね』 京城 白岩

▲泥棒が盜んだ金で土地を買うてゐたと聞いて 四坊『土地を買ふなんて眞面目の泥棒だね―』 龍岩浦 劍ノ舞

▲高價買入、安價販賣の看板を見て 與太『何だこれの事か物價調節てな』 京城 きみゑ子

募集規程

▲用紙は端書又は所形の用紙一枚毎に一題に限り作者名の外に住所氏名明記の事

商況

兵庫期米　一日前場　[illegible]

東京切長特電　[illegible]

大阪株式特電　[illegible]

大阪三品特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜報

◎綿糸布益好勢　[illegible]

新甫は四百九圓　三十五錢と新高値に産れ現物　綿布龍し　一十一圓五十五錢　三銘先物

◎正米見送り　市況又不活

◎內地豆類鈍狀

相場では先持合

底意は小堅き

◎乾物類は區々　[illegible]

◎雜穀持合ひ　[illegible]

下關相場

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

釜山穀物（卅一日）

[illegible]

釜山水産市場（三十一日）　[illegible]

仁川期米

一日前場　伸惱む　[illegible]

十一錢大上放れ新甫七十四錢下鞘の二十五圓六十六錢の移り　[illegible]

㋒內海仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川本町　[illegible]

十錢と寄付　新甫五錢下鞘の二十一圓九十　[illegible]

五錢と返し保合の裡に伸惱む　[illegible]

反撥力鈍し　[illegible]

急遽五十錢切　[illegible]

崩落　[illegible]

存外頭重　[illegible]

仁川米豆取引所

一日の五月限　[illegible]

大阪は中限の大反撥を報じ新甫發會す

[illegible]

作て暴落の素因 大阪の大反撥

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

北濱たより

[illegible]

仁川海岸町 [illegible] 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 [illegible]

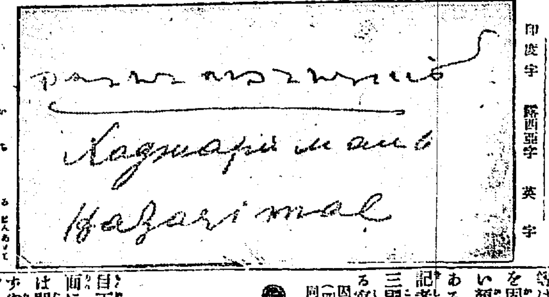
大阪期米　[illegible]

天氣　はれ　晴一時曇

南露より落行く印度人
酷い目に遭つて命からぐの歸國

二十八日午後の事である長春の領事館に恰も喇嘛僧の様な服装をした四人連れの色の黒い人が來て旅行券の査證を乞うた折柄行き合せた記者は餘りの異様な服装と長春では殆んど見たことのない人種であるから頻に應對してゐる郡司書記生を介して此の人達と談話を交換する事を得た彼等中の一番怜悧相な一人は巧みなる露西亞語で記者に固き握手をなしつゝ愛嬌滿山で左の如く語つた

印度字　露西亞字　英字



自分等は印度シカルプルーシンド生れの者で何れも近隣の者等相集つて幸ひ自分の叔父の居住する事とて今より四年以前コンスタンチノープルを經て露國に渡り中央露西亞のトルコの國境に位してゐるタシケンと云ふ地にて露人相手に麥粉其の他の雜貨商を營んでゐた始めの間は相當に商賣も出來て

一日の賣上高が
●百留以外にも達したので●

非常に喜んでゐたが戰爭が始まる迄で露西亞の本國に例の革命が勃發して以來全く秩序も何もあつたもので無く幾日く露兵に亂暴を働かれるのを麥粉が今では一フントが三留と云ふ突飛な値がする始末で商賣も何もあつたものではないから仕方なしに意を決し四人のトら彼の地を引揚て之れから上海の港等を經て印度に歸るのである、以前來た道に歸れると都合が好いのだが獨逸の軍隊が容易に通されぬと云ふ事だから遂に此の方に廻て來たのだ、タシケンには以前は獨逸人なりアルメニア人なりグルギ人から日本人支那人と各國の人が居たが獨逸人は早く引揚げる其の他の外國人も露人の亂暴に恐れて皆引揚げた、自分等も

四年辛抱したが
●賦金は取れず儲かる處の●

騒ぎでない、先づ〳〵命を全うし得たのが不思議な位だ、然し戰爭がなかつたら同地は人口十萬もある繁華な都會だから商賣するのには隨分面白い土地で、町にはボルガと云ふ滿い流れに脊々とした森もある、印度より氣候もよし、甚だし好い様に思ふから戰爭が了つたら再び出かけるかも知れぬ

タシケンからは
●日本人も三人イルクツク●

まで同行したが其の後何地に行つたか知れぬ久し振りで故郷の山川を見て友達や親兄弟にも種々話すのを樂しんでゐるのだ其他の事は僕等は何事も知らぬと再び記者の手を固く握り再會する迄健康でと黒い顔から白い歯をむき出して愛嬌ある笑を含んでゐた別れに臨んで記者に自署して呉れた自分の性を三國字で記したのが爰に掲げてある寫眞である

因に同人はハツヤリマン、ウヤンカリマン（四十四歳）と云ふ男である他の三人も殆ど同年位である（長春）

野心に充てる 獨の遠謀
東に南に海に陸に
●慾望日に熾んならんとす●

目下獨逸の勢力は駸々として各方面に進展しつゝあるが東方に於ては單獨講和の成立したるにも關せず尚ほ西露に侵入して之を壓迫脅威するは其の目的の主として彼が何物よりも恐懼する所の過激派の極端なる社會主義を撲滅して其の自國に浸漸するを豫防し併せて威力を示し全露を其の勢力下に雌伏せしめて他日利權の地をなすに在るが如し領土の慾求に就ては既に獨逸種族の多く居住する沿海四州を獨立せしめて之を包擁し南方に於ては波蘭及び穀物豐饒なる小露（二十三萬四千方哩、臺灣、樺太を除きたる日本の面積に同じ）を獨立せしめて物資原料供給の地となすに在るが如し而して是等の地域が他日の獨領たるべきは自明なり此の如くして北は波羅的海南は黑海を制すべし斯くて兩海の露艦は既に其の掌中にあれば之を自國の艦隊に加へて他日英艦に對抗するの遠謀あるや明かなりと云ふ

參戰の準備全く整ふ
奉天省新編の六箇旅團動かんとす

參戰を目的として編成したる奉天省新編成六箇混成旅團は已に各地の聚兵求據を了り且將校の任命を完了したるを以て今後三ケ月を限り將卒名簿及び學術成績を中央政府に報告する事となれり猶ほ新成旅團（一旅は三千六百七十二名）は近く北邊の防備に出動すべく出師費は參戰借款より經常費は國庫支辨なる由（奉天）

南より北に移る
毛皮の中央市場
●リス、狐、コリンスキー、熊等●
●相手は主に英米露支那人●

滿洲及び蒙古の毛皮は從前天津を其の中央市場とせしが近來奉天を中心として滿蒙毛皮の買入れを爲す外人多く現に米國オウフンー會社出張員を首めヘルスコピッツ等の毛皮商は昨今頻りに奉天に於て活動しつゝあり毛皮は主に狐、栗鼠、熊、コリンスキー等多く奉天に於て支那人より購入しつゝある毛皮商には米、露、支那三國人多しといふ猶ほこれが輸送方法は主として小包郵便により門司より積出し歐航の汽船便によるものにして小包は一個十一ポンド（我が一貫三百二十匁）郵税は米國紐育行一個二圓七十四錢、英京倫敦仕向け一個二圓十錢にして毛皮は輸入稅の關係上生皮の儘を發送するものにして英國輸入品は特に同國政府の許可を要するものなりといふ、因に奉天より發送の小包は昨年三月頃より開始し爾來殆んど一箇年を通じて一日百個の多數に上り居りしが昨今は又復激增し一日平均二百四五十個を算し居れりと（奉天）

督軍の聲明
●安心せし東省實業會社●
支那側の態度全く一致すべし

目下奉天に於て業務開始の緒に就きつゝある東省實業株式會社は東拓を親會社として專ら土地建物の不動產金融の業務を主とせるものなるが從つて會社の事業は陰て支那側と面倒なる交涉を見たる土地商租問題に關連する處多く今後も事業進行と共に如何なる支那側の妨害あるやも計られずとて大に張督軍以下の意嚮を氣兼ねしつゝありしも由なるが這回張督軍に於ても會社の事業を了解する處あり

露都引揚げ 悶際の光景
●金髪美人を新嫁として●
●歸還したる小野副領事の談●

露西亞國内に於ける猶太人の勢力は獨逸人の勢力と同様に國内に瀰漫して露西亞の存在する限り到底之れを取り去る事は不可能である露國内に於ける在らゆる社會的經濟力は猶太人の手に握られてゐる彼等は露西亞人には金を貸さない凡ての利徳を其の掌中に收め様として居る、英國は猶太人の爲めに昔しエルサレムやシオンの恢復を企圖して居るが現今猶太人の大多數は亦

古の猶太人でない
●彼等は權力中心の國家の●

建立等は夢想も爲て居らぬ、彼等が最高の理想は世界を打つて一丸と爲し各國境を撤し金權の多少に由つて幸福の階級にせんとする思想を有してゐる此の理想遂行の爲めに彼等は從來多大の努力と犧牲とを拂ひ殊に露國内に於ける革命の煽動者は常に猶太人であつて其の起因する處も亦此の理想を根底として生れてゐる併て露都に於て猶太人の全權世界統一のプログラムを印刷發行したものがあつたが猶太人等は直ちに莫大の費用を投じて之れを買收し現今にては殆ど市場に求むる事が能きぬが私は其當時から一冊を所有して居る戰以來猶太人の執りつゝある行動は凡て此のプログラムに由りて行はれて居る事が明かである猶太人の全權世界統一運動は單に露國に向つてのみに非ざれども露國が從來猶太人に對して過酷の扱ひをなしたる事は頗る猶太人の怨恨を抱く處となり露國に對する猶太人の運動は一層色彩の濃厚なるものである猶露國には露國人自から深く露國を呪ふ心中の論の蔭りは革命後の今日と雖も容易に消散せざるものがある即ち農奴階級がそれである千六百八十一年の農奴解放も要するに露都地方のみであつて田舍に於ては今回の革命前迄は猶

農奴組織は昔日と
●少しも變つて居らぬ●

之等の農民が今度の革命には一時に勃發して地主の家を燒き森林を燒いて居るのだから全く手が付けられぬ露國は或意味に於て今度始めて全國に亙る農奴の解放が實現せられたと云ふべきであろう實に今日の露國は如何なる社會過激派と雖も夢想も及ばざる狀態である革命亂勃發後資產階級の者は其の財物を擧げて保管を託せる銀行は沒收せられ家に貯へて居る財產は厭次の家宅搜索の爲めに悉く奪ひ去られ個々多少の財產を隱匿して居る者は

下女下男に强迫
●せられて露はるゝか●

さもなければ夫等の者の爲めに密告せられて財產の悉くを沒收せらるゝ上に過酷なる罰金又は體刑に處せらる今は全く露都に於て資產所有者の位置を顚倒した有様である露國の斯くの如き革命は獨逸の支配的勢力と猶太人の經濟的勢力と農民の怨恨とに由りて現世界に殆ど有り得べからざる事實を現出するに至れり（終り＝小野領事一氏談）

解氷 江滿豆

豆滿江は昨年より七日早く解氷し曾寧附近の泥船場は三月二十四日午後三時渡船開通す（會寧）

江原の大鑛區

咸北道茂山郡茂山邑附近の鐵鑛區四十餘鑛區は大部分三菱の手に歸したるが三菱にては之が開鑛準備として今回豆滿江水力電氣を其筋に申請する所あり同水力電氣發電所は茂山より下流五里の地點にて曲折せる豆滿江の流を三箇所の堰を以て直流せしめ落差を作るものにて工費のみにても二百五十萬圓を要すべしと同電力を以て掘鑿其他の作業を爲すべく又た鑛石の搬出に就ては茂山より淸津倉線古茂山驛迄交通機關を設くれば鐵道に連絡すべきも多量の鑛石運搬には不便なるを以て山元より直接淸津迄鐵道を敷設するか或は電車を通ずるかの計畫もありと尙ほ三菱に於て昨年北鮮鑛業所より買收の富寧郡靑岩面細洞の鐵鑛區も近々開鑛の筈なり（淸津）

安東の製鍊所
開業は四月中旬

大倉鑛業會社安東製鍊所は機械取付其の他事業開始の運びに至らざるも今尚ほ事業豫定通り進捗せず今一二機械の取付を終らば直ちに事業を開始し來る四月中旬には業の運びに至るべし而して鑛石買收及び分析の依頼には目下既に應じつゝあり鑛石買收は續々上依に買入るゝ由にて且つ分析依頼者に對しては各專門技術家の手にて最も愼重に取扱ふべく最早や多數の申込者ありと（安東）

解氷で出水
●東蒙古地方は 交通杜絕して
●物資の供給が不能となる●

東蒙古鄭家屯より西方開魯に通ずる白音太拉附近は去る三月廿七日頃より解氷の爲め地上二尺餘の出水ありて交通杜絕し一般物資の供給及び運搬不可能の爲め同地方民は頗る困難し居れりと（奉天）

白山黑水

▲一時グン〳〵と持ち上げて來た留布相場も其の後段々下落しかけて三月廿八日には四百十留内外▲これを先日の三百留臺に比較すると大分下つた併し留の相場はまだ下落するのが本當らしい▲下落といへば奉天の銀の小洋相場も弗々下る▲先月九十二圓のものが三月廿八日には九十三圓を出た而も倫敦銀塊相場に伴はざる下り方である▲滿洲と朝鮮との貿易も段々密接となりつゝあるは爭はれぬまでであるが▲米の滿洲入りは昔からと申しながら其のお返しとして滿洲からは粟が中々盛んに行く▲頃日の奉天驛は荷物が動かず貨車の積送は五月までの分を只今ですつかり引受け濟み▲先樣お詰りとなるまでは鳥渡荷物の送りもないとは困つたものである▲近來開原以北ではチヨイ〳〵軌道に惡戯をする奴が居る▲而も軌道の接目の螺旋などを脫いた跡を見ると却々巧みに機械でやつた仕事である▲そして巧みに獨立守備隊の看視兵の眼を盜での仕事なので此頃兵士は不眠不休▲盗人の黑幕には何うでも獨逸人が居るらしいとの話しである（天來）

その日ぐ 台所

◇むしり鯛山かけ◇

鯛三切れ分に鹽を振り三十分程して水洗ひして水氣を拭ひ金串にさして焼き皮を去つてむしり鯛の上でざつと叩き丼に盛り其上におろしたとろゝをかけ一人毎に玉子の黄味一個を中央に落として出しますとろゝは芋の皮を剝き擦鉢にかけておろし摺鉢にてよく摺り冷めた鰹節出汁三勺醬油一勺を摺り交ぜます　病者は炙り採んで用ひます

見習文撰工募集

年齡十四歳以上十六歳迄の內地人男子にして尋常小學校卒業程度の者五名見習文撰工として採用す希望者は自筆履歷書を携帶本社經理部へ申込まれたし

京城日報社

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三

本日より大夜興行　▲新派家庭悲劇 姫百合 全三巻　▲新派悲劇 ... 全五巻　[illegible]

黃金館　電話二三六三七・二三六六

[illegible]

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

大阪娘義太夫竹本若千代一座

東京浪花節同志會幹部桃中軒如鳳　東京浪花節同志會顧問吉川小壽次　右合同大一座にて開演入場料は特に被大勉強

壽座　京城本町　電話一〇五〇

[illegible]

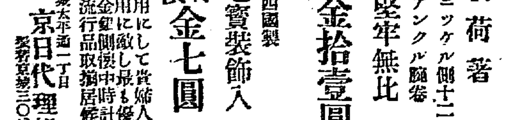
有樂館

[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番

[illegible]

最新流行　時間正確



新荷着　純ニッケル側十二形アンクル腕卷　瑞西國製　堅牢無比　金拾壹圓　七寶裝飾入　特價金七圓　腕専用にして貴婦人用男子用に適し最も優美なる金側時計其他最新流行品取揃居候

京城太平通一丁目　京日代理部

花柳病外科專門　梅毒・淋病・軟性下疳・痔・皮膚病・泌尿生殖器病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

本年春代價表進呈　山林用苗　果樹苗木　野菜種子　草花種子　花卉盆栽　農具肥料　朝鮮平壤　内田百花園

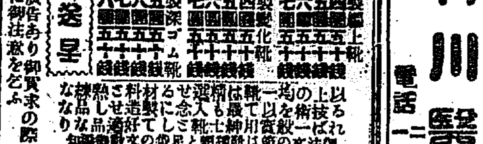
コロタイプ印刷　門田寫眞製版所　繪葉書製造、諸記念寫眞帖　龍山漢江通八（電話五三六番）

最新刊

四月のますや　京城本町　一、二、三の三日間　帶子地・セル地・セル　特價提供品　新柄大賣出し　セル地　壹反に限　一圓均一　其の他見切品利切品取揃申候　各々ますや獨特の考案に成る代式に適したる特製品に御座候　ますや呉服店

内科　胃腸病　石川醫院　診療夜九時迄　京城本町一丁目　電話一二三七・九二〇九番

信用ある東京三金の靴

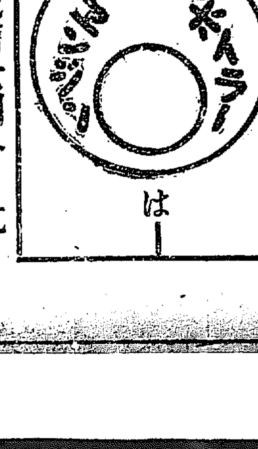


ボックス革製上靴　第一號 金四圓五十錢　第二號 金五圓五十錢　第三號 金六圓五十錢　第四號 金七圓五十錢
ボックス革製編上靴　第一號 金五圓五十錢　第二號 金五圓五十錢　第三號 金六圓五十錢　第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴　第一號 金五圓五十錢　第二號 金六圓五十錢　第三號 金七圓五十錢　第四號 金八圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄　送呈
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
以上は熟練なる技術を以て材料を精選せる上靴一足毎に製造し紳士用靴と念入りに仕上げたる品なり
東京市芝區愛宕下町　三金靴商店

橋本齒科醫院　京城南山町三丁目（電氣會社横路入る）電話二九二〇番　日本齒科醫學士　橋本尙次郎

諸機械傳動用　專賣特許　トンボベルト　朝鮮代理店在庫　京僧商會　諸機械材料商　電話二九四〇番

京城南大門外で尤も確實で安心



は—

痔疾專門　入院隨意　京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇二番）　京城　久枝肛門病院

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第三十三席

塚原訝しく思ひ 小『ハア室町殿よりの御上意を以って御尊來、シテ御用の趣きは何事でござるか承はりたい』○『されば我々は室町將軍の陪臣、山名監物の家人でござるがお先達て主人山名監物清水へ參詣の歸途、不圖尊君の御姿をお見懸いたし、其節同道いたしたる者が、あれこそ當時日本隨一の劔法者、塚原勝義先生であると申すに依つて主人監物大きに喜び豫て將軍義輝公武藝の師を求め給ひ、赤坂の試合に打勝つたる者を召出さんとの御上意、今年見事の勝を得給ひし塚原氏、主人監物上意を受けて上州箕輪なる劍師上泉伊勢守殿の御許へ使者を遣はしましたる處、尊君には諸國遍歴に出でられ不在に付き立ち歸り次第差上るとの御返辭本意なく、存じ居つたる處なれば尊君の御上洛なることを幸ひ、是非とも御目に懸り御上意の趣きを傳へ願はくば御所に御足を止められ、上將軍家は申すに及ばず、下若侍に至迄一手二手の御指南に預らば望外の喜びと存じ、折惡く途中の混雜にてお跡を見失なひ主人監物遺憾此上なく其よりば是非とも御宿所を突止んとあつて、家來一同血眼と相成り日夜奔走いたしましたが、漸々昨日に相成つて貴家に御滯在の由覗ひ知り、今日我々三名打揃つてお迎のため罷出でましたる次第、何卒主人屋敷まで御同道下し置かれたく願ひ奉る』と三名の武士が殷懃に申述べました 小『其れは／＼御苦勞千萬でござつた、山名監物殿には未だ拜顏はいたさんが、御芳名は疾より承知いたして居ります、其御家中の方々が態々の御尊來、何はさて置き御同道申さねば相成らんが併し未だ未熟の拙者幸ひ赤城の試合には勝を占めましたなれど却々將軍お手直しを勸めるといふ譯には相成らん、御召に應じて出仕いたすは、後日に願ひたい』○『御謙遜では恐入りまする、日本國中當時塚原先生の御名前を存せぬ者は一人もござらん、何はともあれ、主人屋敷まで御高來を願ひたく』小『承知いたしてござる』と小太郎も折たし、三名の武士が先へ立つて町角の迎ひ忌とも申されず支度をい重なる案内に隨がひ、室町へ來たつて間もなく御所の門へ入る、警が天下の將軍の御在所、大手の門より入つて見渡せば門內は廣大なる屋敷々々軒を並べ棟を列ね其の美々しきこといはん方なく、西へ曲り東へ曲り、軈て一際勝れたる門內へ入つてからスグに玄關へ懸り △『イザ塚原氏には御上りを願ふ』小太郎上へ上る、小姓が來て『主人待受けて居りますれば何卒此方へ』と案內いたす、小太郎導かれて通りましたは二千疊ばかりの座敷、待つ間程なく正面の襖を開いて立出でました主人監物年頃四十二三色淺黑く丈高く兩眼の光人を射る何樣當時室町の御所の中にて一二といはるゝ人物 山『これは／＼塚原氏、態々御足勞を相掛け申譯もこれなく失禮の條々御咎めもなく早速の御尊來、監物身に取り此上もなき大幸、千萬忝けなく御禮申上げまする』小『申後れまして失禮、塚原小太郎と申す若年者何卒御見知り置かれ以後御厚誼を願ひ度う存じまする』監『恐入つたる御言葉、就いては拙者の屈託は先刻家來共より御耳に入れましてござらうが、實に尊君は武藝の神、日本隨一の達人將軍家には一日も早く尊君を招かれたき御志不肖ながら監物も講武館を預つて武藝の師範者を抱へ指南をいたさせ居りまするの、尊君の御武名、疾より承はつて慕はしく存じ先達て御姿をお見懸け申してより御宿所を探り當つるまで千辛萬苦仕つたが漸々相知れ、早速來訪に預り其喜びは譬ふるに者なし、之れも主君へ忠義の一節でござる』

名聲いよ／＼高く 信用ます／＼厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
支店 大阪市西區市岡町二七一 電話一九四八番振替京城三七五三番

[illegible]

四月三日 九星
舊二月廿二日 庚辰
本命二黑 坤除 大安
▲二黑 大切なる日運を守り新事見合外力は吉 ▲三碧 女難口舌用心の日新事手… [illegible]

ろいれき 病にて
永年苦しむ方も手術せず肥大せる腺（ルイレキ）を委細消散せしめ後尿に混せて外に出す良劑あり郵券二錢封入者に詳報す
東京芝高輪北町三 救生堂

倉庫完全 信券買入
質 京城櫻井町二丁目 杉本質店
壽花園町 電話三一〇三番

並に諸官衙拂下品
陸軍拂下
襦袢、袴下、靴下手袋被服一切
京城府漢江通三 電話長三三六番
佐藤古着店

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四一番
內科 小兒科
入院隨意
無料施療す 特に日五名を限り
醫學博士 古城憲治

あらゆる手當に飽き果てよ
難病をかこつ
婦人病者も
ソンナに悲觀するに及ばぬ

俗に血の道と云ひ又は子宮病と申して居りますが凡そ婦人を呪ひ婦人を惱ます事此の位執拗い病はありません其の上一番困る事は病の特質として初期の中は多くは氣付かずして過ぎます其微候が明かになつて騷ぎ出す頃は大抵取り返しのつかぬ程度に病氣が進んで居る事でありますれば此病は如何なる原因から起るかと申せばそれには種々の理由がありますが玆には皆樣の御參考迄にその一般症狀を擧げて見ますとまづ耳なり足腰の冷えに下腹引きつり差込み動悸息切れ物案じ氣鬱ぎ食慾不進便秘不眠症頭痛めまひ惡寒逆上肩凝り其他全身に氣力がなくなり妙に沈んでとかく世の中が厭になり顏色は蒼白として昨日の美貌今日は見る影もなく瘦躯を落し良人に嫌はれるのみならず屢々のオリモノ閉ちになしけとなり月經不順は勿論の事遂には婦人として最も恥辱なる不姙娠となるのであります子なき婦人は婦人としての資格なき事は申すまでもないが『子なき女は去れ』なんて昔から云はれて居る通り一生不幸に泣く婦人は決して其例に乏しくないのであります

されば婦人病は全く不治の病か？

前に申上げました通り婦人病は中々治療に困難な病でありまして現在惱みつゝある方は隨分四方八方のお藥や手當をなされた事と御察し申し御氣の毒で堪りませぬが現代最も進歩せりと稱せらるゝ洋藥でさへも本病に對しては萬能の効を奏する譯には參りませんさうです然るに玆に多年の苦心研究と絶大の努力とに依つて遂に發見せられたる『命の母』は實に幾多の婦人病者を救濟し全治せしめ子寶迄得せしめたる奇効を奏して居ります これ藥物中の奇蹟の如くにして奇蹟にあらず實に根本からなる下山の藥學博士も極力稱讃せられ其他の博士學士も立派な證明をして居らる譯で蓋し婦人藥としては全く飛び離れた理想的の藥、即ち『命の母』は婦人護身藥として人氣を一身に集めて居るのでありますが於玆乎流石難症の婦人血の道子宮病は必ずしも不治の病でないと云ふことになつたのであります。而して『命の母』は全國到る處の藥店に行き渡て居ります

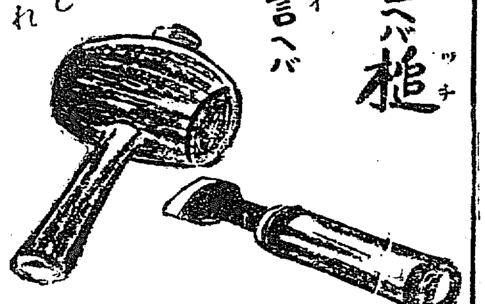
婦人病自宅療法

斯の如く婦人病は最も怖るべく遂には一身を誤らせ一命をも奪ひ去る病氣でありますから前に申しました兆候の中一つでも思ひ當る人は一刻も早く相當の手當をせねばなりませんそこで最も安心なる家庭療法として婦人科專門醫學大家が婦人病者の爲に書かれた『婦人病者の心得』と云ふ本を一讀して其通り實行するのが最も確實です本書には姙娠及不姙娠の原理婦人病の一切の經過原因治療の方法等を最も丁寧に誰が見ても分る樣に書いてありますから何人も自宅で療法が出來ます本書入用の方は東京市京橋區新榮町四丁目從問省三（電話京橋二二〇一番）宛てハガキ又は電話にて御申越しあれば無代にて進呈いたします

主治効能 手足腰冷、下腹疼痛、月經不順、頭痛逆上、めまひ、ヒステリー、子宮內膜炎、白帶下、貧血、つわり

定價 ●試用分 十錢●二日分 廿五錢 一週間分 八十錢 二週分 一圓五十錢 五週分 三圓 十週分 五圓

鑿ト言ヘバ槌
眼病ト言ヘバ
ロート
論より證據 直ぐお試しあれ



ロート目藥と他の目藥と異る特色

（一）ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長獨國醫學博士井上豐太郎先生の處方に係り大前藥學士の鑑査を經たれば患者は安心して用ゐることを得

（二）病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き）消毒したる布を添ふ

點眼器

（三）點眼器の鉾の尖りたるは目に危險なり、ロートの點眼器は鉾を丸くしたる故危險の恐なし

（四）レマズ痛まず故に小兒に用ふるに便利也

▲藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ

侯爵 久我通久閣下賛歌
ロートてふ目の藥
たつ山の木立見ることも涼しけれ
目には霞もくもらで

比較 ハ品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ玉へ

效能 一切の眼病に用ひて他の目藥で及ばぬ効能あり◎但しソコヒには効なし

定價 大瓶五十錢 中瓶二十錢 小瓶十錢

ロート本舖 東京市日本橋區本銀町三 山田安民藥房
ロート發賣元 大阪市東區南久寶寺町二 山田安民藥房
◎全國各藥店に請賣す

需要夥しき
本場秩父銘仙を賣出し申候

◎實用經濟向きの織物として一般の家庭に歡迎せらるゝは本場秩父銘仙なり。
◎今や春色漸く酣にして旅行に散歩に春衣新調の氣をそゝるげふこの頃本社は今回
◎本場織元と特約し讀者諸彥に對し品質確實なる秩父銘仙を最も廉價に提供せんとす
◎柄向きの嶄新にして必ず顧客の滿足を期するは本社が最も意を注ぎたる處請ふ續々御用命あらんことを

直段表

銘物	（大明千筋 中柄物）	一反	金八圓前後より十圓位迄
格子	（小格子 中格子）	一反	金九圓五六十錢より十一圓位迄
絣物	（小中大 柄引合）	一反	金十圓前後より十二三圓位迄
秩父大島	（中小柄）	一疋	金二十八九圓より四十六七圓位迄

◎御注意 近頃只銘仙といふ名稱にて紛ひ物多し御間違之無樣願上候
◎御注文の際は男女年齡の別柄向きの御嗜好（縞とか絣とか）及び價格御申越し下され候はゞ必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候

京城太平通（振替京城三〇〇番）
京城日報社代理部

品質第一
誠實第一
賣行第一

キッコーウリ
最上醬油
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

米國製 正十四金ペン 特殊創案
自働インキ含裝置『パインビジネスペン』
定價 金壹圓九十五錢

進歩的經營的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは當を俟ず、而して此の金『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ何裝置せし『ペン』の背後に密接する『特殊創案の鋏入物によりて金ペン先耐久力』お期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の商等文具にして各銀行、會社、官廳より御用命陸續たり

朝鮮鑛石學及採鑛法

安藤善四郎著

內容大要

△地質學 岩石總論 火成岩水成岩現出の狀態 岩石各論 地殼の變遷
△鑛物通論 鑛物の形態 鑛物の物理的性質 成生及現出 分析及鑑定
△鑛物特論 造岩鑛物 鑛石類 脈石類
△採鑛法 鑛石の露頭 金、銀、銅、鉛、亞鉛、錫、鐵、アンチモニー、クロム、硫黃、水銀、石炭、石油 隨鑛探鑛＝地相＝土色＝鑛山及舊坑＝地名＝轉石
△地質鑛石 地質大要 鑛石の地質的分布 各道の地質及鑛山
附錄 ▽鑛石分析及鑑定表△ 朝鮮鑛業令

四六版 二百五十頁 並製 金一圓廿錢 上製 金一圓四十錢 送料六錢

發行所 京城本町二丁目 振替京城貳五三 電話長貳三七 ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府編 朝鮮 植物調査書 四六判 定價九十錢 送料六錢

朝鮮學術研究會編 朝鮮中學商業 入學試驗問題集 四六判二百頁 定價五十錢 送料六錢

前東京高商教授切田太郎 中央日本大學講師古館市太郎 共著
改訂五版 朝鮮商業提要 改正定價八十錢 送料八錢 三月一日發行

常平馬主人閲 朝鮮古錢價格圖鑑 近刊

發賣元 京城太平通一丁目 振替三〇〇京城番 京城日報社代理部
大賣捌 大阪屋號 嚴松堂 日韓書房

汽車

京釜線（南行） 同（北行） 京義線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京元線（南行） 同（北行） 京仁線（仁川行） 同（南行）

[illegible]

京城日報

第五版

四月二日朝刊（夕刊併せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税一ヶ月金拾五錢
廣告料金　七字詰一行金壹圓
發行兼編輯人　印刷人
京城太平町通一丁目　發行所　京城日報社
電話番號

▲仁川期米 [illegible] 平均値段八十四錢三節八十四錢 [illegible] 平均値段八十四錢四節八十六錢 [illegible]

▲大阪 前止め變らず後寄未だ…にて當地は中二十一圓八十六錢より三錢先八十三錢と寄付八十錢と押し二

後場 寄付 止 高値 安値

遊支偶錄

(六九) 一大不思議　蘇峰生

吾人が不思議とするは、支那史の久遠なるにあらずして、其の久遠なる継續にあり、何の世、何の國か、支那と對抗す可き歴史を有せざる者あらむ。然も彼等の歴史は、殆んど總て斷絶せり。羅馬は奈何、希臘は奈何、希伯來は奈何、埃及は奈何、フイニシヤ、アスシリヤ、バビロニヤは奈何。今日に於いては、何れも亡國也。而して偶ま其の名目を相續するものあるも、それ丈に止まり、歴史は全く中絶し居る也。

然るに不思議なるは支那也。彼が如き覇國にして、彼が如き接續したる歴史を有するもの、現時の世界に於て、果して何の邊に、其の匹を見出だす可き。或る意味に於ては、支那の保全は、支那其物の爲めのみならず、世界に於ける活ける最舊國の標本として、是非必要なるを覺ゆ。

蓋し今日の支那人は、正しく黄帝堯舜の苗裔にして、然も彼等は、今尚ほ陶虞三代の祖先の住居したる地に、往居しつゝある也。而して彼等は、今尚ほ其の當時の文字と、言語とを―多少の變遷を經つゝも―使用しつゝある也。現時の支那人は、三代の支那人に比して、墮落したる乎、進化したる乎。其の議論は姑らく措き、何れにしても彼等は、單に久遠なる歴史を有するのみならず、今尚ほ其の歴史を負うて現在す。

世人は支那を目して、老大國と云ふ。固より然り。世人は支那が老朽を說く。されど吾人は寧ろ總ての舊國が、空しく史上に存するに拘らず、單り支那が最古の歴史を、最新の今日迄、繼續、保持しつゝあるに驚嘆せずんばあらず。而して彼等が舊國民としての、多くの缺點を有するに拘らず、今尚ほ若干の活力を有するを、驚嘆せざらんとするも能はず。

婁氏の徹底的軍備論

五人の子を兵士とす

米國の獨逸に對する感情が最も徹底的に言明せるを前大統領ルーズヴェルト氏となす氏が本年一月十三日紐育に於てなしたる演説に曰く、米國々民が今日全力を擧げて努力すべき事二あり一は戰に勝つ事、一は戰に勝つ爲めに戰時事業を極力促進せしむる事是れなり吾人は獨逸に對し全勝を得ずして平和を締結するを望むべからず吾人にして不徹底なる平和を締結せんか吾人或は吾人の子孫は

▽此戰争を再び　せざるべからざる也不徹底なる平和を締結するは獨逸に勝利を與ふるに同じ斯の如き平和を希望するものは畢に米國の敵たるのみならず、世界の民主政治の敵なり、露國と其與國を獨逸の軍閥財閥に賣りたる獨國過激派の同類と見るべし米國にて此の戰争に反對するものは米國に反對するものなり其間に何等の中間地帶なし吾人の立場として獨逸及び其同盟國に敵となるか然らずんば米國と文明との敵となるかの外なし吾人は獨逸壊地利土耳其の壓制政治の下にある各民族に自由を與へんとするものにして若し之を實行するにあらずんば吾人が戰争目的として世界民主政治の安全を計ると云へる言が僞善の言となる也。白耳義が其領土を恢復し賠償を得、佛國が其領土を恢復し賠償を得る迄は天下の

▽正義は蹂躙　せられ居る者なり而して忘るべからざる事實は此戰争が米國の戰争なる事也今日米國の兵が外國に出で、聯合軍と相並びて戰ひつゝある所以は將來聯合軍を有せざる米國軍隊が其故郷に於て敵を防がざるべからざる運命を避けんが爲め也吾人は戰時事業の速進を計らざるべからず船舶大砲機關銃飛行機は急速に之を建造せざるべからず不幸にして吾人は今日迄に武器と船舶を準備せざりし也此缺陷あるが爲めに吾人は今後一層努力せざるべからず吾吾の缺陷を指摘するを憚るは愚にして非愛國的なり

▽缺陷を指摘　せずんば之を匡正するに由なし而して之を匡正せざるは最も有効に獨逸の援助をなすもの也故に米國にある親獨派の[illegible]常に軍備缺陷を指摘する者に對し惡聲を放ち居れり彼等は米國官憲を辯護する假面を被りし獨逸の利益を計りつゝあり不愉快なる眞理に面するを恐るゝ者は怯者なり吾人は軍備の缺陷を補充し此戰役を勝利に導くべき一大決心を有せざるべからず吾人は全力を揭げて戰時事業を促進し歐洲にある我軍をして決勝的の實力を有せしめざるべからず戰爭の準備は平時に於て爲すより賢なるはなし予は過去の經驗に鑑みて將來

▽米國の青年　に對し平素より强制的に軍事教育を施し彼等をして每年大規模の演習を行はしめ之に要する武器飛行機を平時より整頓し置くべきを主張する者なり士官は悉く半年若くは一年の訓練を經たる普通兵士より選抜して彼等は米國市民として全く同等の地位に置かれ斯くして米國軍隊は世界中最も平民的なる軍隊となるべし此制度を採用する時は有爲の青年にして資金なきが故に士官たる能はざるが如き憂ひは一掃せらるべし其實證は予の一家の例にあり予は

▽四人の男子　と一人の壻子を有す悉く海外の戰塲にあり此五人は米獨戰争開始前二年間に普通義勇兵として兵營生活を經たり米國陸軍は此五人に各士官たる職を授けんとしたり然かる其內の一人は普通兵士として飛行機隊に入らんことを志望し既に飛行術に熟するや選ばれて士官となり二人はパーシング將軍の部下たる士官たり彼等は志願し今は其軍の士官たり彼等は幸ひに義勇兵たる資金を有したる爲めに遂に士官たるを得たる也予は等と同じく軍人たらんと欲する青年にして資金なきが爲めに軍隊に入らざりし者少からず米國の青年に平時に於ても軍隊教育を强制する法律にして制定せらるゝときは此弊除かれん是れ治に居て亂に備ふる唯一の方法なりと（東京）

◇記念植樹を爲す懿寧園

四月三日の神武天皇祭當日總督府にては第八回記念植樹を懿寧園にて擧行すべく同園は京城林業試驗地內にあり樹木繁り眺望佳く昨今にては若葉萠出で植樹つて旅の色が溢れてゐる記念植樹地域には赤繩を繞らし苗木及び鍬、鐵の類は旗を立てゝある所に用意してある參集者は係員よりそれを受取り標準的に植栽しある植樹地に三尺置位に植つく可しとのこと當日は總督府職員家族以外一般市民の參集をも歡迎すと因に同園は明治四十四年第一回植栽以來約一億萬本の植栽をなしたりと圖は懿寧園內の景色

北滿及西伯利在住 鮮人の近狀（五）

▽鮮人人夫　鮮人鐵道人夫は開戰當時に在りては專らニコリスク市以南の復線工事、烏蘇里鐵道、黑龍鐵道等の工事に使役されて居た、埠頭人夫は浦鹽商港部埠頭に於いて商船の貨物積卸に從事するのである、船貨積卸し人夫は、稅關の認可を受けたる露國人の人夫請負人ある外、鮮人の人夫請負業者も多數である、船長の構內に關する、雇役人夫として勞働する者殊に多く、其の數每日數百人を下らない、人夫の賃金は、一昨年迄は凡そ一留五十五哥であつたが革命以來露國勞働者は賃金の增加を强請し、甚だしきに至りては一日十五留以下にては其勞働に從事しないといふ有樣で、從て鮮人夫も亦三四留より漸次五六留に値上をした、併し之れでも露國人夫との賃金は十留餘の差があるので、露國人夫は鮮人人夫に業を奪はるゝことに成るので種々妨害を試み、鮮人人夫の數頓に減少したが、船內人夫のみは船長に於て自由に雇傭するの權能がある爲めに、此方のみは支障なく働いて居る、漁業人夫は日露漁業協約に依る日本人の漁場たる沿海州、[illegible]及び東露[illegible]の鯨漁業に雇はるゝ者、露國漁業者に雇はるゝ者又露國に歸化した鮮人は黑龍灣、烏蘇里灣、彼得灣等の沿岸漁業に從事する者もある、是等の內歸化鮮人は別とし、他の人夫は北鮮地方から漁季に入込むで來る者が多い、尤も中には浦港の一部、烏蘇里灣の沿岸に永住する者もあつて、鮮人のみの漁村もある

▽其他　以上は農商及び勞働者等に就いて記したが、此外市街に居住の鮮人中には露國官衙に奉職する者も少くない、露國の將校に成つて居る者もある、商店に傭はれて居る者では一部の主任として重用されて居る者もある（完）

小說戲曲一斑（四）

於京城倶樂部　今關天彭氏談

…式から引續いて小說はますます盛になつてからは、四大奇書の中の三國志、金瓶梅の二つが出た。三國志（元末と云ふものあり）は所謂る歴史小說で、蜀、魏、吳の後漢末の三國の事柄を小說に組合せたのであつて、孔明、關羽、張飛などの事が面白く書いてある。作者は羅貫中だと云ふ事であるが、これも分らぬ。この小說が大いに流行したもので、清朝初期に於ける滿洲人の戰法は大抵これによつたものである。明治維新の際桐野利秋が會津の降參を受ける時に、講釋師の講釋を聞いて覺えて居た降參を受けた式によつて會津の降參を受けたと云ふ話がある、これは無論本統の事ではなく、たゞ一場の笑ひ話に過ぎぬであらうが、清初の滿洲軍隊は軍隊の三國志を以て唯一の兵法として居つたのであつて、今日から見ると、まことに笑ふべき事であるのである。またこの小說に關聯して考ふべきことは關帝廟の事である。關帝とは關羽の事で、關羽が義によつて約を守り、その上大勇あつて、神靈を現はすことが支那人の最も喜ぶところである。この思想は、前に申した水滸傳の天に誓つて義を結ぶ思想と相通じて、支那思想の一方面と見られるのである。

モウ一つの金瓶梅は、純然たる人情小說であつて、いかにも能く人情の細かな點と、當時の日常生活の有樣を寫してあるが、いかにせんその書いてある事柄が餘りに猥褻に過ぎ露骨に過ぎて居るから、これを諸君に申し上ぐる事は出來ぬのである。と、一寸金瓶梅など申しても、眞面目な漢學者である體面を毀損するやうに思つて居たのであるが、私は金瓶梅から明代の風俗を知つた事が多いのであるから、むしろ歴史家には一讀を推薦したいと思つて居る位である。

この書の脚色は水滸傳にある行者武松の兄嫁であつた潘金蓮といふ妖婦と、西門慶といふ金持の商人が金の慾によつて、縣廳の役人となつた、その日常生活を主として書いてあるのである。また作者については明代有名の文人王鳳洲が書いたとも云ひ、或はその門人が書いたと云ひ、或は或人が嘉靖の奸相嚴嵩の子世蕃の専横を惡み、それを毒殺すべく、この書を作つて紙の端に鴆毒をぬつて置いたが、嚴世蕃は書物を讀むのが甚だ早いので、遂に毒を被むらなかつたと云ふ話が殘つて居る。

明にはこの外いろいろの小說が出て居るが歴史小說が多い、東周列國志、兩漢演義、隋唐演義などが最も現はれたるものである。その中隋唐演義は上半部の隋の部分を截り取つて隋煬艷史として世間に行はれて居る。艷史はかなり好い文章で、煬帝の驕奢淫逸の有樣を描寫してある。

▲廣告▼

購買入札　一 雜糸（四種）三百十五貫五百匁 右購買ス詳細ハ大正七年四月二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ　朝鮮總督府

◉鑛業の智識を得んとする者は見よ　鑛業講習錄　新學期開講入學の絕好期 目下入學者には特點あり　本校は最新式の通信教授法を以て鑛業に關する一般的智識を授け鑛業技手及び鑛務員を養成して人物推薦に苦しむ斯界に就職紹介す ◉校則は申込次第送呈　京城府…　大日本通信鑛山學校朝鮮支部

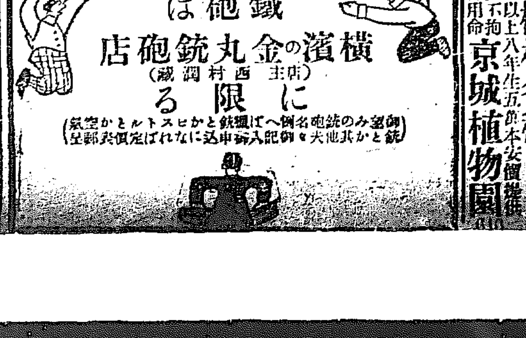
各種強健法の眞髓を悉く網羅せる國民必讀の新著　比較研究 廿大強健法　好評嘖々たる本書は「精神肉體強健の最大良藥」と評せられ又「極めて便利なる各種強健法の大辭書」と推賞せられ發行三旬にして今や第五版を發賣するに至る　加藤美倫先生著
內容目次　▲岡田式靜座法 ▲二木式腹式呼吸法 ▲岩佐式強健術 ▲藤田式息心調和法 ▲川合式強健術 ▲寺田式健康法 ▲永井式家庭體操法 ▲石塚式食養法 ▲高野式抵抗養生法 ▲冷水浴と冷水摩擦 …
正價金壹圓貳拾錢 送料八錢　東京神田區錦町一丁目十九番地 誠文堂 發行

不朽の名著　澁川玄耳著　縮刷 從軍三年　日本軍人の眞價を評定すべき一大證據書類　古今の戰史に見る可らざる戰陣の裏面的描寫
最も詳細なる觀察と暢達なる筆趣を以て最も露骨に日本軍人の眞價と戰闘の裏面生活の一異彩を描寫したる本書は古今類例なき戰陣文學の好評を博し…著者は軍司法官として常に司令部に在りて高等の地位と文學的趣味とは此の不朽の名著を成さしめたり
蘇峯先生本書を東京だよりに評して曰く「著者の筆鋒は犀利なれども其の觀察眼は更らに犀利也。…」
正價金一圓 送料金八錢

蘆川忠雄先生著　日本と世界見物　金錢活用法　堅く着實に金を溜める法　僅に九拾錢を投じて千圓の富を得んと欲する者は來れ　本書は極めて懇切に諸君の相談相手となり確實に眞面目なる着實なる金持たらしめん　一財産増殖法…本書にあらば如何なる場合の式辭演說答辭挨拶も自由自在に出來る

大日本研究會編著　祝賀 式辭答辭挨拶 祭文　新然として頭角を拔く　最も實用的で最も模範的な新著として早くも各種の歡迎　良書是は　四六判 定價一圓 特價金壹圓　發行所 東京神田區錦町一丁目十九番地 誠文堂書店　特約 京城本町 大阪屋號 巖松堂

京日案內
◉円生入用 龍山元町二丁目七二 金銀細工 龍 正
◉留守番 子供なき者に限る 新町
◉看護婦及見習生急募集 本人履歷書携帶 京城 山田醫院
◉店員入用 仁川 新野酒造場
各種土管類 煉瓦陶器類 植木鉢 京城太平町二丁目 山本商店
社員採用 魔法瓶及中瓶 京城本町一丁目 高木旅行用具店
信用擔保付貸出 三成社
櫻樹十二三尺以上の物 右多數持合せあり 京城東四軒町 百花園
◉中古ミシン買入 御用の方は電話又は端書…
◉鑛物各種分析 京城太平町二丁目 松永分析所
見習小僧 三田政商店
六十八回新債券 朝鮮産業
店員入用 京城本町一丁目 鈴木支店
◉櫻楓各種 京城植物園



○全戰線終日の激戰

ヘーグ元帥の公報によればソンム南方よりアラス北方に至る全英國戰線に終日激戰あり其戰線延長五十五哩に及ぶと(倫敦電報)

○戰線ア市を距る五哩

三十日夜佛國公報=二十九日夜の戰鬪は更らに猛烈を極め目下モリユール、ニリラシーの先に至る四粁の前線に激戰中なり モリユールはアミアンを距る五哩也(倫敦電報)

○敵砲彈教會堂に落つ 死傷百數十名を出す

獨軍長距離砲の一彈は折柄集會を催ふしつゝありし巴里の一基督教會堂に落下し七十五名の慘死者を出し猶九十名に負傷せしめたりしが、死者中には瑞西公使館參事官あり(巴里電報)

○獨軍損害二十萬人

今次の戰鬪に於ける獨軍損害は內輪に計算するも二十萬人に達す聯合軍は今や至極有利なる地位に在り(巴里電報)

○獨軍モンチヂエ占領

獨逸公報によれば獨軍はモンチヂエを占領せり(倫敦電報)

○白國兵五百哈市著

羅馬尼戰線に在りし白耳義兵士五百名哈爾賓に來れり(長春特電)

○和蘭船の航海停止と瓜哇

瓜哇英領海峽植民地及び米國間に於ける和蘭船の航海は停止されバタビヤ港に抑留の船舶益々增加し多數の和蘭船はスラバヤに碇泊し居れり 市場は極度の不振にて物價非常に騰貴し政府は食糧及び雜貨買占防止策を執りつゝあり(瓜哇電報)

○東宮御見學

皇太子殿下には一日午前八時廿分東京驛御發入江侍從長濱尾大夫以下供奉員を從へさせられ京阪御見學の途に就かせられたり同夜は名古屋離宮御一泊の御豫定也(東京特電)

○日本醫學會 第五回總會 御名代宮台臨

第五回日本醫學會總會は一日午前九時より東京帝國大學法科大學第廿五番教室にて開會されたり右に就き畏き邊より差遣はされたる閑院宮載仁親王殿下は松井事務官を從へ同十時台臨左の令旨を朗讀遊ばされたり

令旨

茲ニ第五回日本醫學會開催ニ當リ命ヲ奉シテ來場シ此盛況ヲ觀ルハ予ノ深ク悅ブ所ナリ諸子益々奮勵研鑽シ以テ斯道ノ完成ヲ期セヨ

終つて緒方會頭の答辭寺內首相等の祝辭あり殿下は諸員奉送の裡に還啓午後は各種講演ありたり(東京特電)

西國政變詳報 聯合內閣の組織

以て左黨の一なる文部大藏二大臣の辭職提出を主張したるを以て彼て三月十四日附勅令を以て電信到[illegible]然るに各政黨首領は何れも隣僧に[illegible]マウラ氏總理の下に各閣僚[illegible]

[illegible]辭職し三月七日首相の率ゐる自由[illegible]此論議したる末三月九日[illegible]內閣便局員を解職し通信機關全部を陸[illegible]過半數を有せす且軍人組合との協[illegible]理大臣及び各政黨首領を網羅せる[illegible]

現象なりと(安東特電)

○釜山商議當選

釜山商業會議所評議員選擧は一日午前九時投票を開始午後三時終了せり有權者五百六名にして投票數は四百四十八無効十一にして其の結果左の如し

三十七票山田惣七郎、三十票香椎源太郎、二十五票石川侃一、二十三票堤貞之、二十三票豐泉德次郎、二十二票第一銀行、二十二票小原爲、十八票深見彥四郎、十七票武久捨吉、十六票小玉文三郎、十五票中野强助、十三票中村、十三票那須藤三郎、十三票大池忠助、十二票木下元次郎、十二票水野巖、十二票福島、十一票伊藤祐義、十一票戶塚、十一票小宮萬次郎、九票磯村武經、九票大黑酉松、九票石原源三郎、八票金時鉉、五票尹大善、五票吳南根、四票李圭正、三票尹炳準、三票慶南銀行

右の內三點一名落選す可きも慶南古の代表者未定のため不明、選擧は頗る靜穩なりき(釜山特電)

○平壤丸著津 官民を招待す

朝鮮郵船會社日本海橫斷航路船平壤丸は卅一日清津入港同社員は同夜官民を料亭都に招待し披露宴を開けり尙同船は一日午後九時出港せるが當地よりは大豆二千三百個を積載し城津よりも生牛三十頭外大豆を積載の筈なり(清津特電)

◉滿洲と北支那の鐵道

借欵鐵道特色あり=滿鐵の滯貨約百萬噸=滿鐵と鮮鐵

鐵道局技師 新田留次郎氏談

南北滿洲及び北支那の各鐵道を視察し、去る三十日歸任したる鐵道局勅任技師新田留次郎氏の視察談に曰く、

予は南滿、東滿、吉會、四鄭各線を視察し、奉天より京奉線に依り北京に到り、京綏、京漢、津浦及山東各鐵道の現狀を主として技術上より調査したるが、今回の旅行中、予の先づ感じたるは、支那よる來る誰れもが、朝鮮の鐵道を田舍臭しと云へるに拘はらず

▲實は其反對 にて、朝鮮の鐵道こそ優秀なること是れなり想ふに鮮鐵を田舍臭しと云へるは停車場其他の建物が、朝鮮にては何れも木造なるに滿洲及び支那にては悉く煉瓦造にて、其等內部の構造便否は別とし外觀上、鮮地の各驛の建物が貧弱なるが故に、旅人の眼に田舍らしく映ずるものならんか、北支那の各鐵道は唯一京綏線の外は總て借欵鐵道なるを以て、各特色を有せり、是れ京奉線は英國の資本を以て、京漢線は佛國の資本を以て建設され、夫々放資國の技師の手に成れるものなればなり、津浦線の北部は獨人に依りて敷設されたるものなるが、其

▲土地に適合 せる方法なりや否は姑らく措き、微細の點迄も克く行屆きて經費を節約せる等純獨逸式なるを見たり、右諸鐵道中京綏線のみは支那の資本と支那人の技術に依りて成れるものなるが、八達嶺を越ゆる線路に三十分の一といふ急勾配あり、停車場の引込みにスキッチバック式を採用せるなど悉く米國式なり、滿洲に引返へして、四鄭線遼河の橋梁は、假橋を架設し居れるが、本年より本工事に著手し、橋臺、橋脚は年內に竣工すべき豫定なりと聞けり、吉長鐵道は地方民の紛紜も片著き營業成績亦良好なるが如し

▲滿蒙五鐵道 中、四鄭鐵道を除く四鐵道は借欵に付協議中なりと聞けり、順次實現さるゝに至るべし、支那に於ける借欵鐵道は一日一哩平均四十圓以上(一鮮鐵現在の收入は三千餘圓)の收入を擧ぐるにあらざれば收支償はざる由なるが、此は借欵利子の支拂給料の割高なる等の爲めなり、滿鐵は其の莫大なる收入の割合に鐵道には多くの經費を費し居らざるが如し、但し之を爲すの必要を認めざるが爲めなるやも知れず、滿洲にては結氷期間、大地凍結して線路浮上り解氷すれば沈下し、而かも貨物列車の運轉頻繁なるよりレールの朽損甚しきを以て之が

▲對應施設に 就ては、滿鐵は十分に研究を重ね、又線路水害の防備にも頗る周到なる用意の程を看取されたり、何しろ現在大豆、豆粕等大連埠頭の滯貨四十萬噸、東滿、南滿、四鄭三鐵道沿線の滯貨約百萬噸に上れる土地柄なれば鐵道の經營も改善も容易に且つ面白く出來得べし。

○武石氏逝去

貴族院議員武石橘次氏は二十九日午後四時急性肋膜炎にて逝去せり(東京特電)

▲略歷 氏は大分縣多額納稅者にして又株式會社大分縣農工銀行同大分銀行同大分共立貯金銀行豐前瓦斯株式會社各取締役を務め明治二十一年以來縣會議員に當選すること三回縣治に盡す處あり後に互選せられて貴族院議員となりて今日に及ぶ享年六十歲なり

○湯林二氏東上

湯化龍、林長民兩氏は一日神戶著二日東上す(大阪特電)

○眞野九大總長の滿洲談

眞野九州大學總長は一日午後五時半來安同六時半發二日午前八時京城著視察の上午後七時五十分發馬山晉州を經て十日迄には歸任の筈なり因に其談話の一節に曰く十年以前の面影無く活氣横溢せる滿洲は極て氣持好し殊に大連の如きは諸般の設備より時間勵行の態など洋行せる如き心地せり又立山鐵鐵所の規模雄大なる實に百年の長計と言ふに足る其他一般に在住者の活動旺盛なる邦家の爲め悅ばしき

◆玄關と勝手口(五)

鴨綠江の育める兩都

以上大ざつぱながら安東の產業に就て述べた、それ丈でも立派に現在の人口を養ふの實力を有して居る、將來木材又は山林の副產物を原料とする

▽事業の發達 に伴れて益々其繁榮を增すであらう、且つ鑛業も亦同地の發展を助くるの可能を信ずる向もある、滿洲の玄關として決して恥かしくない土地柄である、而して昨年此玄關から送り込まれた物貨が四千萬圓、關稅收入が支那全土四十餘の稅關中第七位を占めて居るさうだ

―新義州―

安東縣程には發らないけれども、其發達は頗る著しいものである、昨年末同地の有力者は資金百萬圓を以て銀行を設立した、純然たる土地の銀行であるが、創業以來日尙淺しといふもおろか僅か三四個月の間に百萬近くの預金を吸收せる由を聞いた、製紙會社の建築も近く起工されることに成つて、工事請負人は先頃既に到著し、工事の準備中である、江岸に新築中の製材所は工事半を越へて斧斤の音を河面に響かせて居る、此外計畫中の事業もある樣だが、同地は何と云つても國內のことゝて、河一つ隔てた安東よりも鮮地の住人には詳知されて居るから、此以上を

▽記す必要は 無いと思ふ、但し玆に一つ注意すべきことがある、其は新義州には盛んに土木が起されてゐるのに、安東では斯うした氣振りも無いことだ、安東の支那街は人家稠密どちらかと云へば寧ろ街り合ふと形容したい位だが、日本街の方は空地が多い、同地の人達は齒の拔けた樣だと云つて居るが拔けた齒が多過ぎるので莫迦に淋しい、坦々たる大道が碁盤の目の樣に劃せられて、其兩側に假普請したものか、處々に立派な煉瓦建や石造家屋の聳ゆるのが一層亞鉛屋根の並ぶのは什う根を醜くする、宏壯なる正金銀行支店跡の空地が通行者の

▽氣を滅入らす 之を要するに其氣の好い割に外觀は寂しい、殊に土木建築の工事が起されて居ないのが心から寂しく感ぜしめた、夫れに引かへ新義州は街區雜然として居るが、安東より劣つて居る。併しながら寂しいといふ感は起らぬ、新義州の人達は、日用品でも少し多量に買入れる場合には、安東迄出懸ける程兩都の狀勢には懸隔がある。然も旅人の眼に新義州の方が賑かに映るのは、全く土木建築が盛んである爲めだ、即ち安東の方は齒が拔けたまゝ挽つてある、新義州のは

▽入齒を搭へ つゝあるからだ、之れには幾多の原因があるであらうが、今は詮索せぬ、向後大きな敷地を要する工場などは、土地の自由に買收し得られる新義州の方に其位置を選定することになりはしまいか(郵魔)

◆段內閣の中樞 (中央)總理段祺瑞氏(上段右)內務錢能訓氏(同左)陸軍段芝貴氏(下段右)海軍劉冠雄氏(同左)交通曹汝霖氏

◉總督喇嘛僧招待

東蒙古の喇嘛僧一行二十二名は日本內地觀光の爲め二日午前八時三十分南大門驛著列車にて入京す可く長谷川總督は同日午後零時三十分より京城ホテルに於て右一行を主賓とし同時に陪賓として內鮮人側の重なるものを招待し精進料理を饗應す可く主人側よりは宇佐美長官澤田第一課長等出席す可し

◉眞野九大總長

滿洲地方視察中の九州大學總長工學博士眞野文二氏は一日午前九時三十分奉天發列車に搭乘の旨入電ありたるを以て二日午前八時南大門驛著の豫定なるが京城に下車するや否やは未定なりと

◉松川中將歸任

南鮮部隊第一期檢閲視察の爲出張中の松川軍司令官は山本參謀、野津副官を隨へ一日午後二時四十分龍山著列車にて溫陽より歸任せり

◉高山少將視察

都督府陸軍參謀長高山少將は二日午前六時半來安壯丁體格檢査狀況視察の上一泊三日發歸任の豫定也(安東特電)

◉調停成る 貨物手數料問題

過般來京城商業會議所に於て百方調停に努めつゝありし貨物取扱手數料問題は夕刊所報の如く一日に至り漸く解決の曙光を見たりしが同日午後七時半頃に終に雙方の妥協點を見出し左の如く決定し久しきに亙る紛議も玆に無事解決を見る事となれり

一、京城運送業組合貨物取扱手數料及び賃金は京城商業會議所に於て調査の上一定の料率を指定し相互に於て至當と認むる率を承諾すること

但し右の料率は一の標準にして運送業者と荷主とに於て特に協定し得ること

二、運送業組合規約を以て組合員各自の自由意志を拘束せざる事

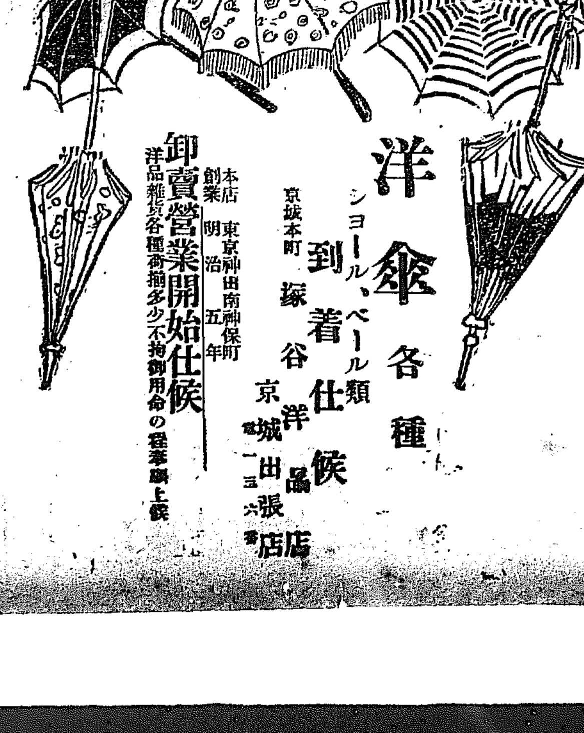
右調停成立するや直に花月に懇親宴を開きたりと

人事消息

▲好宮路明氏(北京三井物產會社員) 一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲猪木浩樹氏(請負業) 同上天眞樓へ
▲賀田金三郎氏(東京實業家) 同上巴城館へ
▲赤峰哲夫氏(成鏡南道事務官) 同上浦尾へ
▲川島野氏(湖南日報社長) 入京[illegible]在中

圖百閱百種圖

先日京城倶樂部に催された儒者物の書畵展覽會にも逸品が多かつたが續いて同所に開かれた三十一日の學者物にも珍品尤物が多數持寄られて却々盛んであつた▲出品中に工藤文哉氏が所藏の貝原益軒の七絕の幅があつた、幅の眞僞はさておきその詩が頗る振つてゐたといふのは悟うい席には頗る適切な皮肉であつた―亦京城の好事家の所へ行くと誰もよく出會す問題で即ち一般書畵家の拳々服膺すべき事柄であつたからだ▲詩は『人家珍藏客生疑主發嗔南廊子今何食說與頑石點頭人』といふので京城には『客生疑主發嗔』の人もあるし怒を買た人も尠くない▲殊に其席にゐた李王職の權藤事務官などは感慨の深い方でその幅を緒業書にでもして廣く藏家に頒つのならば印刷費の一部位を負擔してもいゝといふ位でこの一幅のために頗る座興を添ゑたさうである



洋傘各種
ショール、ベール類
到着仕候
京城本町 塚谷洋品店
京城出張店 電話一一六番
本店 東京神田南神保町
創業 明治五年
卸賣營業開始仕候
洋品雜貨各種商網多少不拘御用命の程奉願上候

謹告

今回伊藤長商店京城出張所營業一切を繼承仕候に付前者同樣倍舊の御用命被仰付度奉懇願候早々頓首

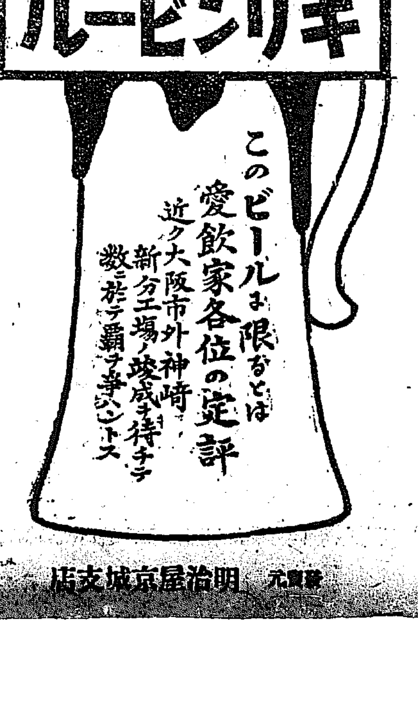
大正七年四月一日

京城府南大門通四丁目五十四番地
重石水飴 牛骨牛脂 米糠肥料 輸出入商
大阪產業株式會社 京城出張所
京城府南大門通四丁目卅一番地 同 肥料部
京城府東大門外 同 化製部

弊店營業一切を大阪產業株式會社へ引繼候に付前同樣倍舊の御愛顧賜はり度奉懇願候早々

大正七年四月一日

京城府南大門通四丁目五十四番地 伊藤長商店 京城 出張所
京城府南大門通四丁目卅一番地 肥料部
京城府東大門外 化製部



發賣元 明治屋京城支店

◉喇嘛僧一行通過

喇嘛僧一行十餘名は一日午後五[illegible]視察の上午後七時半發釜山へ赴く(安東特電)

◉清津祝賀會

[illegible]十周年記念[illegible]を極む(清津特電)

◉地方法院雇員採用試驗

京城地方法院にては四月[illegible]

…[illegible]…議會を解散し二月二十四日總選擧…[illegible]…求に係る軍…[illegible]…待遇改善の件を勅令…[illegible]…の措置に不滿を抱き事實上聯盟…[illegible]…の有様となり輿論の激昂甚だしく…[illegible]…を行ひたる結果左黨失敗したるを…[illegible]…とし公布したる所一般政界は容…[illegible]…策に類似する態度を示したるを以三月十九日總辭職を見るに至れり…[illegible]…せられたる結果三月二十二日保守…[illegible]…理大臣各政黨首領を招集意見を徴…[illegible]…閣首相ヴリシヤフリエト氏は內務…[illegible]…大臣兼司法大臣に任命せられたり（…[illegible]…二十五日…東京）

今朝の珍客 ◇喇嘛僧一行◇ 南大門驛著

＝忽必烈は喇嘛で版圖を統一せんとした

◇喇嘛教は蒙古人の生命◇

＝廟には大きい領地や多くの家畜を持つてゐる

今回日本觀光に往く喇嘛僧は主として滿洲寄りの內蒙古の人々であるが獨り內蒙古と云はず外蒙古と云はず喇嘛の勢力といふものは大したものである、蒙古人は喇嘛の云ふ事ならば什麽とでも諾くのである、實に喇嘛教は

◎蒙古人の生命

の如きものとなつてゐる、蒙古の內地を旅行する人は蒙古人の包（天幕）の貧弱なるに反しその喇嘛廟の宏壯なるに驚くが常である、喇嘛廟即ちお寺は蒙古人の喇嘛教に對する熱烈なる信仰によつて建てられたもので廟にはまた廣大な寺領の土地や多くの家畜を有するものが尠からず且つ淸朝時代には政府からの俸祿もあつたが今でも蒙古の王公旗民などから喜捨する浄財は夥しいものである

◎蒙古人は一家の嗣子の他は總て寺に入つて喇嘛になる、喇嘛にならぬ者にても喇嘛の服裝をして喜んでゐる、尤も斯く蒙古人に喇嘛が崇拜されるのは蒙古人の先天的の宗教的人民たるにもよるだらうが一つには前淸朝の蒙古懷柔策によると云つても不可はない、淸朝は初め猛悍なる

◎成吉思汗の子孫

蒙古人を利用して明を亡ぼしたのであるがさて天下をとつて見ると秦の始皇帝と同じく萬里の長城を築く程の恐怖心が起つた、其處で無邪氣な蒙古人を喇嘛教で柔げて男子といふ男子は悉く僧侶として人口の增加を防いだ斯くして

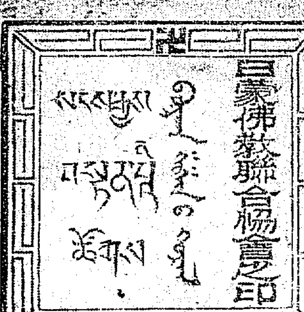
◎三百年來の蒙古懷柔策が成功した時御本尊が倒れたのであつた、總廢次第で蒙古人には喇嘛の教へが頭の中に沁み込むでゐる、恰も喇嘛の教へは紀元七世紀の中葉印度から西藏に傳はり其の後數百年間は西藏以外に出なかつたのであるが偶々博多灣頭でお馴染の元の忽必烈がその尨大な版圖を宗教の力によつて統一せんとした時に用ひたもので法王は西藏の拉薩と

◎外蒙古の庫倫

に居る殊に庫倫の法王（達賴）の如きは露西亞が盛んに利用せんとしたものであつた、喇嘛は無論いろんな階級があり且つ宗派も數種に分れてゐるがその中の偉い喇嘛となるには是非一度西藏に往つて受戒しなければならぬ、喇嘛はまた

◎袈裟を纒ひ勤行に

は太鼓、法螺、木魚、柝木、銅羅、笙、笛等を用ひ西藏語の經文を讀むのはわが日本の佛徒と異りがない、兎に角蒙古に於ては絕大の勢力を有する者である（奉天）



◇喇嘛の牧畜◇ 蒙古人の常食は牛乳、茶、羊肉、麥等でまた小麥粉、干饂飩なども用ふる地方もあるしかし滿洲寄りの開墾地にては一般滿漢人同樣の地方もあるが大興安嶺の西北地方になると全くお茶や牛乳、羊肉ばかりを食つて居る、家畜は喇嘛が羊を飼つてゐるところ

◇蒙古文字と西藏文字（下）中央の繩に記せるは蒙古文字へ樣のは西藏文字、喇嘛僧は多く漢字を知らぬ、日常のお經文は主に西藏文字で誦する故に本國の蒙古文字もあまり知らぬ

◇◇◇◇

我が航空界の新記錄

帝國飛行協會の長距離大飛行

◎成功!!

帝國飛行協會の所澤大阪間長距離大飛行は連日暴風の爲め延期しつゝありしが愈々一日早朝決行する事となり操縦者後藤正雄氏高木理事等は午前三時半より協會格納庫に至り協會式第六號を曳出し將校等を督勵し出發準備に取懸り約七時間分の燃料を搭載し總明試運轉を爲し場の上空を回航し各地の天候觀測の良好なる報に接するや午前五時愈々出發後藤氏は場の上空三百米突の高度より機首を南に取り箱根の嶮を目指して突進し同五時五十分箱根七時十五分藤枝八時三十分濱松九時三十五分四日市を通過し十一時二十五分無事大阪城頭練兵場に著陸せり日本航空界の新記錄なり（東京特電）

◎喇嘛僧歡迎會

內鮮僧侶聯合會

二日蒙古喇嘛僧一行二十二名入京に付在京內鮮各宗僧侶聯合主催の下に同日夕刻より明月館に於て歡迎會を開き一行を招待して朝鮮料理を饗應す可し

◎後藤氏の飛行機

所澤より大阪に

一日朝所澤を發せし民間飛行家後藤正雄氏の飛行機は無事午前十一時過ぎ大阪練兵場へ著せり（大阪特電）

◎嬉しい入學式

圖 京城高等女學校の入學式は一日午後一時から擧げられた、百五十名の新入生徒はお父さんやお母さん或は姉さん方に伴れられて校の兩側に新らしくつけられた白線を氣にしながら誇らしげな喜びの色を顏に浮べて女學校の生徒として最初の校門を潜つた

圖 式場では成田校長先生から初めての訓辭を聞き松、竹、梅と三組に分れて之れも始めての教室で教へられた初めての席に就き受持の先生からそれ〳〵細かい注意事項の說明を聞いたそして喜びに高鳴る小さい胸を抑へて新しい先生の仰せを一言も聞き漏さじとおとなしく謹聽した

圖 お母さん達は二階の教室の前迄も押し掛けて子供等が自席に着くのを見届けて『大きくなるのは早いものです』と今更らの樣な感慨を洩らす人もある▲教室も席も受持先生の顏もわかり先生へのご挨拶も濟み校門を出ながらお母さん達は相顧みて

圖『之れでまー什うにか一安心でございます。』

◎自動車故障

池田書記負傷

金泉（慶北）晋州（慶南）間自動車居昌郡熊陽面にて故障あり池田書記長谷部分隊長負傷す（晋州特電）

◎立往生電車

三十一日午後五時五十五分頃京城電氣株式會社の東大門行六十九號電車は鐘路四丁目三十四番地先にて故障を生じて立往生し東大門迄押し行きて修理を加へたり▲四月一日午前九時四十五分頃竹添町より光熙門に向け進行中の百十七號電車も西大門にて機械の故障より一時立往生せり

『この世が厭さに男を誘ふて亡き母の後を追ひます』

新町遊廓の心中＝兩人共絕命

一日午後二時頃京城新町遊廓營春樓の石田氏保が新町遊廓裏手の南山麓なる松林に小鳥狩に行きたる際薄暗き谷間にて若き男女の死體を發見せり急報に接し新町派出所より警官驅付け其の旨本町警察署に急報し輕部巡査部長外々見警察醫現場に

◆◆出張屍體を檢視せし取調べの結果男は本籍山形縣山形市十日市町當時京城明治町三丁目銅及び羅紗商市原六三郎方店員藤田武雄（二二）女は本籍大分縣玖珠郡萬年村當時新町遊廓一二三樓事吉川とよ方の抱娼妓敏子事穴見とし（二〇）と判明せり兩人は豫てより深き仲にて女は三十日午前八時頃髮結ひに行くと稱して家出し男と諜し合はせて姿を晦ましたるものゝ如く

穴見とし子

家出後の行動は確かならざるが縊命し居る現場の模樣より推察すれば二人は三十日夜明頃前記のうら淋しき松林の谷間に這入りて合意の情死を遂げしものゝ如し、先づ男が携へ來りし刄渡八寸許りの鋭利なる黑鞘の短刀を以て女の前頸部と右乳の上に突き刺し深き肺に達する深傷を負はして女の絕命するを見屆け返す刀にて己れの前頸部を搔き切り更に左横腹に二寸餘り突き刺して自殺を企てたるも尚死切れざるより

◆◆傍らの松の樹に攀ぢ登り縊めゐたる博多の角帶にて縊死を遂げたる模樣なり、而して死後既に四十時間位を經過し居るもの如く兩名共鼻、口より血を吐き著衣は鮮血に染まりて強張し居たり其れが降り灑ぎたる雨に打たれ脫ぎ棄てられし足駄、中折帽子剃刀、墓口、數通の遺書等散亂し居れり四邊の光景は凄愴を極む、男は夏の半袖メリヤスと猿又を穿きたるのみで上衣は脫ぎ棄てあり女はハイカラ髮にして

米澤の羽織、銘仙の綿入白縮緬に唐縮緬の赤き腰紐をなし細紐にて兩膝を堅く縛しありたり、屍體は檢視の上男は雇主に女は北米倉町に居住し居れる實父穴見辨次が馳けつけ淚ながらに引取れり兩人が痛ましき最後を遂ぐに至れる今日迄の經緯を聞くに女は昨年春頃現在の一二三樓に抱へられしが事情ありて一度足を洗ひしも再度十一月に前借六百五十圓にて同樓に住み込み今日に及びて其の頃より男と

◆◆馴染むに 至り男は既に五十餘回遊興したる形跡あり、しかも金使ひが荒きより樓主や仲居より謝絕することもありしも相思の間柄とて遂に今日に及びたるもの如し、武雄は十三歲の頃より現在の主人に仕へ質直に立働きて信用を得たるも一度遊里に足を染めしが病みつきにて主家の金にも幾分の穴を明くるに至りしも解雇さるゝ如き破目に陷りし譯にはあらず然るに情死を企つる迄には双方側にか深き事情の伏在せるに相違なく俄かに斷じ難きも女は目下某役所の小使を勤め居る前記辨次の長女にて實母は既に死亡し

其後繼母が入り家庭に面白からぬ情もあるらしく

實父に宛てたる遺書には廿九日附にて『先立つ不孝の罪をお許し下され度、つく〴〵考ふればこの世が厭になつたから男を誘ふて亡き母の後を追ふことに決心しました、祖父母や兄弟等にも謝つて下さい尚亡き母の石碑を建てゝ下さい南無阿彌陀佛』と認めあり其の他樓主夫妻及び仲よしなる同樓の娼妓のもの各一通あり、しめに宛てたるものゝ中には十圓紙幣二枚を封入し『これは衣類を入質したお金だけれど此の金で

◆◆妾の借財を拂つて下さい、尚自分の遺した衣類其の他小道具迄皆差上げます』と認れたる文句あり男は雇主人市原に宛てたるもの、香山某、二宮某、藤山某の四名に宛てたる四通と別に『二人にて行末迄も樂まる、恐へば悲し夕嵐吹く。世の中の先見にされば失感ぞ。明界に進み行くなり春來らん。喜びもつれなき秋は今ぞ來らん、春霞わが心迄かすみつゝ野山霞に吞き込まるらん』と歌の如き辭世あり、而して同人は今年徵兵適齡にて發見されし四月一日が其の檢查日なりしと

◎行囊金賠償事件

遞信局側敗訴

前後五回の判決を重ねて一勝一敗となりたる遞信局より大野峰次郎を相手取りたる公金八千七百餘圓の紛失に關する損害賠償事件は豫て京城覆審法院に於て審理中なりしが三十日原判決を廢棄し被控訴人の請求を棄却すとの判決となり遂に大野峰次郎の勝訴に歸せり

◎後藤氏四國へ

既報の帝國飛行協會後藤正雄氏は四日晴天なれば姬路岡山を經て高松に著十三日四國山陽方面飛行を爲す筈（大阪特電）

◎岡崎氏性相學講話會

龍山鐵道俱樂部に於ては一日午後七時より目下入京滯在中なる性相學家岡崎貞陸氏を招聘し性相學講話會を開催せり

◎監獄職員野遊會

京城西大門監獄にては相原典獄以下職員及び家族全部約七百名四月三日龍山にて野遊會をなすべしと

西の宮巨刹山海滴寺の白巖嶺南天棒和尚の名と云へば機鋒の峭峻を以て現今日本の禪海にその名高き和尚である▲昨年德寺の宗般和尚と共に七十九歲の老軀を草鞋脚絆の雲水姿に堅めて四百有餘の雲衲の先頭に立つて托鉢をした豪僧であるが和尚は常に人に向つて自分は八十になつたら必ず寂滅すると云つて居つた▲今年は丁度和尚八十の高齡に達し豫期の生涯を終へることゝなつたが今年は又其住錫して居る海清寺開山の無因禪師の五百年遠忌に相當するので和尚は去る二十六日から末期の大法會を同寺に於て修行す、ることゝなつた▲そこで各本山の管長は申すに及ばず全國各叢林の師家並に二十五箇の僧堂から雲衲が百五十名も集つて來てこの大法會を助けて居る▲南天棒和尚は此頃も益々の元氣で本堂儀の導師に伍してこの大法會を嚴修し少しの疲勞もないが▲和尚はこの大法會を目出度終了する翌五日を以て自己の入定式を引續き執行する▲斯くて和尚は最後の引導を唱へ各本山管長師家雲衲及び僧下の居士連の監視の間にかねて用意の柩に入つて最後の訣別をするとのことである。

…[illegible]…茶菓の饗應を受け川谷氏の挨拶に對し喇嘛僧謝辭を述べ種々歡話を交換し同六時半陛下二日午前京城…[illegible]…會定員を缺く（京城特電）

…[illegible]…東部の復職事件に…[illegible]…若收監さるれば市參事…[illegible]…氏…[illegible]…除典としてマラソン競爭相撲…[illegible]…手踊旗行列花火等の催しあり盛況…[illegible]…用すべしと…[illegible]…四月十日迄に…[illegible]…試驗は可成御手の能筆者を採…[illegible]…

公告　京城府
一、大麥三千二百貫外二點
右來四月五日午前十一時入札

汽機（舶用）馬力六十馬力　壹臺
石油發動機　八馬力　東京池貝　壹臺
ポンプ　セントル、ヒユゲル　口徑拾二吋　壹臺
鐵管　貳拾五尺　ベンド・フートバルブ共
右割安賣却來談願上候
京城南大門通五丁目
器械材料商　中村幸商店　電話三二五番

公告　京城府
一、馬車五百臺
右來四月五日正午拾貳時入札

京城本町二丁目　川合時計店　電話二九一八　振替京城二二九

鑛區鑛石買入
亞鉛鑛、鐵、鉛鑛、銅鑛
右の鑛種に對し鑛區買入（許可前出願先願權）
金鑛石、亞鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石
水鉛
右の鑛石多少に不拘買入
鑛山用諸機械器具及鑛石叺販賣
京城府御成町七番地　正已鑛業所　熊谷忠直　電話長三二三番

東洋一　精形流行の魁

靴と鞄　軍用旅行用
內田靴鞄問屋

質　大塚質店　京城明治町二丁目元昭町　電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全倉庫あり
◎多額の融通も出來得る限り御便宜を圖る

新田帯革
朝鮮總代理店　白神洋行　京城本町四丁目
白神洋行支店　京城南大門外
ハラタ調帯　防水調帯
定價表御申込次第送呈

有給支店長採用
世界に一つしか無い最新發明の明光ランプの販賣は數ヶ月內で莫大の金額が取れ…ならぬ經濟德用品で飛ぶ程賣れて非常な人氣で…に出來る此際大擴張に付一地方に支店長を採用し壹ケ月拾五圓以上百圓迄を給す希望者返券入申込次第規則書送呈す至急申込まれ…際は御斷する
東京市日本橋區濱町三丁目番地　明光ランプ販賣所

各種鑛物分析依賴
金銀精製に應ず
新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七　中村分析所

謹告
謹啓各位益々御淸勝の段奉慶賀候陳者從來當所に於て亞鉛鑛及鉛鑛買鑛罷在候處都合に依り當分右鑛石買入中止可仕候間幸に御淸恕被成下度此段謹告仕候　敬具
大正七年三月
久原鑛業株式會社　京城事務所
同　鎭南浦製錬所

○直接○返周○出張○治療隨意
諸病治療
釜山土城町一丁目八番地
院長哲學士　江藤旭洲　哲學療院
○規則書無代進呈

同業者サヘ推賞スル
五大銘酒　中の呼物
愈京城ニ現ル
特約店　京城黃金町一丁目　三巴京城支店　電話三八〇番　七五三番

魚釣具及投網　小賣卸
鳥捕用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）
京城永樂町貳丁目　吉備商會　電話三二一四番　振替京城四三八

◇在庫品概畧◇
一　吸入瓦斯エンジン（附屬品付）　拾貳馬力　拾四馬力　拾五馬力　拾八馬力　壹臺　壹臺　壹臺　壹臺
右機械は石油發動機改造品にあらず
一　米國製自働磨擦圓鋸機　壹臺（但し三間挽）附屬品付
一　米國製ローラ送圓鋸機　壹臺（附屬品付）
一　新調品　メタル　車　シヤフト（皮）各種在庫品豐富
京城太平通り二丁目五九
機械材料商　安達機械販賣部　電話五九五番

入院隨意（普通病室並に隔離病室）
內科小兒科
京城旭町一丁目
小林醫院　醫學士　小林千壽　電話六九二

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百九十回　關東浪人（三）

長門屋へ行つた一隊は、表と裏との出口に、屈強の捕手を配つて頭梁の一人がヅツと暖簾を潜り入つた
『當家に關東の浪人風早利右衛門が泊り居る筈ぢや、左樣か』
亭主は大地に額を付けて
『御意にございます』
『ちと尋ねたい儀があつて罷り越した、ちよと此へと申せ』
折柄利右衛門は茶の間で澁茶を飲んで居たが、それと聞くと驅け出して

『風早利右衛門は手前でござる』と臆した樣もなく云つた
『奧女中芳野の兄といふ、相違ないか』
『相違ござらん』
『それなら尋ねる事がある、門前まで出て呉れぬか』
捕手の頭梁が何氣なく云つたので、利右衛門はそこにあつた草履を履いて暖簾を出る、その姿を一目見ると、軒下に隱れて居た捕吏が、左右から跳り掛つて
『御用々々』と叫んだ
『御用とは何事？人違ひして後悔さつしやるな』
利右衛門は八方を睨んで突立つた、武道に掛けては、他に後れを取つたことのない男、假し相手が多勢であらうと、鍛ねの一刀を拔き放して、四邊を血の海にする位の手練はある、一たん側近くつめ寄つた捕吏衆はたぢ〳〵と背後へ退つた
『抵抗すると爲めにならんぞ、芳野は已に罪に服した、其方こそ免れぬ處、尋常に繩を受けろ』
頭梁は氣を付ける、利右衛門は何事の報いがあり、また何事の罪科があつて、斯うした破目に立ち至つたか知るよしが無い、然し、芳野に繋つた事件に由つて、捕吏を受けるに至つたのはそれで分つた、一たん刀の柄に掛けた手を緩うして
『何事のお疑ひか存じない、また芳野に何うした罪科があるのかも辨へない、然し、御用とあれば詮方ない、たゞ繩目の恥をお免し下さらば、このまゝお供仕ろ、強て繩を掛けようと思召さば、双の續く限り戰つて、協はぬときは此の首をお授け申す、武士は相互それだけの情を遁はされうか』と云つた
利右衛門の面構へが尋常でない、双や膂力で捕縛しようとしたら、どれほどの損害を受けるかも知れぬと氣付いて、定右衛門は柔かに
『仰せ御有理に承はる、さらば繩目はお恕し申す、兎も角も奉行所まで御同道下されね』と云つた
利右衛門は頷いて
『さらば此のまゝ同道致す、宿へは決して迷惑を掛けはしない、拙者の持ち物はそのまゝに預け置くぞ』
云ひ置いて悠々と歩み出した、十數人の捕吏が前後左右を取り卷く、利右衛門は惡びれた人でも尋ねるやうな態度をして奉行所の門を潜つた
すると、役人が出て腰の物を取り上げる、懷中物その他を一應改めて、すぐ白洲へ引き出した、取調の役人が座について
『その方、妹芳野と云ひ合せ、夜な〳〵お城の塀を乘り超ゑ、淸之丞へ食物を運ぶ事、訴人あつて明白した、速かに白狀致せ』と云つた
とき、彼の顏にぴんと響いた物があつた、それはその訊問を本にして淸之丞に恩を被せたら、それから初縁を助ける道が開けるかも知れぬと思ふ事であつた

蠅の驅除法　家庭で注意が必要

そろ〳〵温かくなると蠅が出て來る此驅除法に就ては米國のやうな綺麗な都市ならば心配は無いが下水の不完全な不衞生な土地では一段と苦心を要する
◇日本の家庭で　多く行はれて居る驅蠅法は鳥黐であるが是れは汚くて效果が薄い獨逸あたりではコロホニユームに亞麻仁油と黃膽を交せて煮るとにちや〳〵した液が出來るそれへクワツシア木の粉末を入れたものを紙に延ばして蠅取紙を造るとかクワツシア木の粉を五倍の軟水に二十四時間浸して夫れを一時間煮詰めこれに蜜を交せたものを新聞紙などに著けて驅除して居るが蠅取水と云ふものがあつて是れは前のクワツシア木の粉末を煮詰めたものに同量の
◇酒精を入れ　これを水で薄めた液を器物なりに振撒くと蠅が寄り付かぬそうである此他簡單な方法としてはクワツシア木の粉末とか除蟲菊の粉末とか藥種屋で買求めて是れを蜜に交せ其粘液を紙に延ばして使用したならば鳥黐よりは綺麗で宜いかと思ふ尤も蠅は不潔な臭を好むものであるから鳥黐でもエスシエーテルのやうな嫌な液を交せたらば蠅を誘き寄せるに宜いかも知れぬ蠅は亦決して乾燥した所には卵を產まぬが便所とか芥溜などの濕つた箇所に
◇卵を產み付　けるそれで便所とか芥溜には常に石油を撒けば蠅は少しも寄り付かぬから驅除法としては最も手輕で完全な物であらう殊に蠅は明るい所を好むから便所の下部を暗くして置けば宜いかの折紙の鶴を天井から吊して置くのも蠅の糞を取除く法として今日何處の家庭でも行はれてゐるのである

口櫻

ゆるやかに流るゝ水の面もせに櫻ちり居りま　　芳子
ひれもすな花ちるかげに吾が居りて秀つ枝のゆれなみてゐたりけり　　秀雄
たほろゝ散る
櫻さくわが海村の櫻闘闘よろしく櫻さくよし　　阿駄良
櫻さく寂さなりけり四方の峰に眞白き雲の湧き止まずけり　　不案

新刊紹介（到着順）

▲國家的總動員（佐藤中將著）陸軍中將佐藤鋼次郎氏の著にして序に曰く『孫子戰ひの道を説て曰く、道とは民をして上と意を同ふし之と死すべく之と生くべく長れ危ぶまざらしむる也と是れ上下一致國家舉げて戰ふの謂ひにして換言せば國家總動員を要す、即ち工業も商業も鐵道も船舶も金融も總て動員せざるべからず（中略）抑も我が國體は世界に冠絶し（中略）國民的戰爭に一致民本主義の作用の發揮せらるゝものに非るか』と説き國家總動員の意義を詳説して歐洲戰の原因經濟に言及し各國に於ける工業產業鐵道船舶金融動員の狀態を指摘して國民的戰爭と國家的動員の意義を明かにしたる有益なる快著述なり（一圓四十錢東京牛込通方町二七社）
▲日本魂（櫻花號）在鄕軍人會の機關紙にして剛健なる記事痛快なる記事を滿載せり（二十錢東京々橋三十間堀三ノ七其社）
▲中外新論（二の四）春季擴大號として名流の執筆に成る有益多趣味の記事豐富にして時事問題に對する面白き觀客批評の外社會上の面白き記事も多く文學趣味も亦たつぷりの大雜誌なり（五十錢東京芝愛宕下二の二其社）
▲新時代（四月號）號を逐ふて益々其の價値を發揮し來り硬軟兩面共に生氣の溌剌たる有益多趣味の記事を滿載し殊に主張あり趣味あり品位ありて而かも眞面目にて而かも面白き雜誌なり（三十錢東京芝白金今里町九六其社）

諸者の領分

▲貴社懸賞募集の狀袋案は一般より好資料として多大の歡迎を受け其の發表を一日千秋の思をして待たるゝ向少なからず此の専門的圖案を全部掲載して廣く讀者より本欄に於て批評せしめ然る後技術家の鑑定を受けては如何（KS生）▲去る廿五日仁川より京城に遊びに來て帶止を求めんが爲め本町のウツボヤ書店の向ひの或る店で純銀と云ふて帶止を購ふた疑り驗べみるに洋銀とは實に甚いた（仁川女）▲龍山偕行社の前の○倶樂部の御主人は出入の者を兵卒扱ひは全くひどい此人を敵の樣に扱はなくてもよさゝうなものだ、しかしあれで上の方にはナヌクチの樣に温和しいとはチヤンチヤラ可笑からざらんと欲するを得ずだ（○○生）▲嫖浪客樣の申さるゝ通り大蒜樓小奴は性質が惡い同じ名前でも太平樓並に一二三樓に居る兩人は非常に心が美しい、嫖浪客樣へ御照會申し上げます（同感の一人）▲元と古市町にあつた福喜洋行の某番頭は近頃小成金に成し濟し晝の日中人通りの多い旭町一丁目の料理屋の前に車を横付し小使藝者連れで寫眞を撮り等して傍から見て餘り見よくないもう分別を付けていゝ時分だ（慨歎生閒）

大阪米　場當限出來不申　中限一圓二十一圓八十六錢三錢　均値段八十三錢二錢八十三錢四
△先限一圓二十一圓八十四錢二錢八十五錢一錢二錢一錢八十錢一錢八十錢一錢
阪小商き移りありしも利かず八十三錢と打止めたり
後場中先共に持合ひとなり

資本金參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
明治三十八年設立
株式會社漢城銀行　京城府南大門通四丁目五番地
長 男爵 李允用　專務取締役 韓相龍　支配人 張弘植
電話 二六四六番 二二三九番　振替京城一八六二番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕

品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス
朝鮮高麗人蔘（白蔘紅蔘）直取引貿易商
ツ人蔘エキス本舖 津村兄弟商會 本店 京城本町一丁目 電話一四八〇番 振替京城三五一一番 取引百三十銀行
京城本町一丁目 電話一八七〇番 津村兄弟商會支店
津村商會 支店　大邱支店
特約店 京城本町二丁目 山岸天佑堂　京城本町二丁目 北島藥舖　京城本町一丁目 木村藥舖
其他朝鮮全道四百十ケ所 日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は木店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候

軍醫御用　元祖

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス
定價 内用 △七日分、金五十錢、△十四日分、金壹圓、△三十日分、金貳圓 △四十七日分、金參圓、△八十五日分、金五圓、△百六十五日分、金拾圓

内科 眼科 小兒科　京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）　本田醫院　院長 本田建
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院隨意　肛門病の話 痔疾特注射根治療法解説書入用の方郵券十二錢送れ　電話二四四二番 振替京城三三八番

人事百般 周旋業　京城府明治町貳丁目　電話長一八四四番　萬年社

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話 四八一番 九四五番 四四番　振替京城五七番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます ―クラブ化粧品代理店ですから ―御値がお安いです
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番 振替七三七番

内科 小兒科 皮梅科　外科一般 婦人病 花柳病
京城黃金町二丁目（長橋通角）　朝鮮診療病院　（入院隨意）（電話二八三七番）

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.
Price ¥ 1.50

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき
ミツワ規那鐵葡萄酒
定價 一壜 金壹圓五拾錢 内地以外は運賃を加ふ

滋養品强壯料
香味色佳良滋養力偉大　健胃補血興奮作用卓越

（現品縮寫圖）

本品は甲州縣産葡萄酒釀造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、周到なる用意の下に精製せる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし
一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何と無く弱く胃腸に掛り易い人
一、產前產後の衰弱を早く回復したい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色香く肉瘦せ活潑ならぬ人
一、所謂腺病質の人
一、胃腸病即ち脾弱に罹つて居る人
一、病後長く痩せ咳嗽や痰の出る人
一、血より弱く出る所謂結核性の人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黄病など血液の病に罹つて居る人
一、肺結核、肋膜炎、其の他結核性の病で苦しんで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に惱されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ氣病に惱まされて居る人

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.
Price ¥ 1.50

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の强壯を圖り尙新活力を賦與し得べき
ミツワ人蔘葡萄酒
定價 一壜 金壹圓五拾錢 内地以外は運賃を加ふ

標絶品强壯料
風味高潔溫和滋養豐富　精力增進興奮作用偉大

（現品縮寫圖）

本品は科學的研究を經て、效力卓絶なりと認められたる人蔘を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして其の色は紫紅にして鮮麗、其香は芳芬にして澄爽、其味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、精力を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を齎らし精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尙健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる效果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の淸涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▽如斯人は强壯料◎ミツワ人蔘葡萄酒を用ふべし
[illegible]

釜山出帆廣告
汽船 和歌浦丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時
立神丸 月 日後五時
元山、浦津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時
立神丸 月 日後四時
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大箕丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後一時出帆）
元山、西湖、新浦、城津、浦津行 第三平安丸 四月二十日後六時
門司、宇品、神戸、大阪行 第三平安丸 四月十一日後六時
本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
神戸、木浦、釜山、下關、大阪行
神代丸 月 日後四時
秀吉丸 月 日後四時
君代丸 月 日後四時
大有丸 月 日後四時
仁川港埠頭通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行 共同丸 四月 日午後
本社 阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 郵口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船
本社 電話長一九五二番
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 郵口回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門 松原運送店
關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
二高運丸 月 日
成鏡丸 月 日
京畿丸 月 日
忠淸丸 月 日　釜山發
×元山より北鮮各地經由雄基行
慶城丸 月 日
京城丸 月 日
慶畿丸 月 日
忠淸丸 月 日
商運丸 月 日　元山發
大阪行（釜山門司經由）平壤丸 月 日　釜山發
元山より釜山關門行 二高運丸 京畿丸 月 日　元山發
元山より江原道寄港釜山關門行 成鏡丸 忠淸丸 月 日　元山發
釜山より浦項及各地經由 彌勒島行 咸德丸 月 日　釜山發
浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由） 江陵丸 襄陽丸 每日　釜山發
濟州島行長承浦麗水巨文島經由 濟平丸 月 日　釜山發
濟州島行（西歸浦經由）順天丸、公州丸 月 日　木浦發
釜山、麗水間 巨濟丸 每日　釜山發
統營丸 海州丸 月 日　釜山發
木浦麗水間（麗水にて釜山行接續） 南陽丸 天九丸 三日目每二 修濟中　木浦發
木浦より多沙島名島行 慶興丸 月 日　木浦發
仁川木浦行（群山其他各地經由） 晉州丸 金海丸 月 日　仁川發
海州行（江華島各島經由） 全州丸 南陽丸 休航
三十一日ハ休航 其他結氷ノ爲ヌ休航行ノ事アリ
鎭南浦行（芝罘、大連經由） 江原丸 月 日　仁川發
淸津行（大阪神戸門司より） 平壤丸 月 日　元山發